

令和元年度・2年度 県母学会合同理事会次第

日時：令和3年2月12日（金） 19：00～

場所：ZoomによるWEB会議

あいさつ

茨城県産婦人科医会 青木会長

茨城産科婦人科学会 佐藤会長

報告事項

1. 各種委員会報告
2. 地区支部報告
3. 茨城産科婦人科学会代議員選挙の結果 資料1
茨城県産婦人科医会代議員選挙の結果
4. 中止となった令和2年茨城県産婦人科医会並びに茨城産科婦人科学会総
会資料 資料2
5. 茨城産科婦人科学会 担当幹事予定一覧 資料3

協議事項

1. 役員改選について 資料4
2. 総会の議決について
3. 令和3年総会について
4. 茨城産科婦人科学会及び茨城県産婦人科医会令和2年度決算・令和3年
度予算 資料5
5. その他

茨城産科婦人科学会
新代議員一覧（茨城県）

(五十音順)

氏名	所属施設	住所		電話番号	FAX番号
青木雅弘	青木医院	310-0815	茨城県水戸市本町3-4-7	029-221-8603	029-221-1235
小島真奈	筑波大学附属病院産婦人科	305-8576	茨城県つくば市天久保2-1-1	029-853-3900	029-853-3072
佐藤豊実	筑波大学附属病院産婦人科	305-8576	茨城県つくば市天久保2-1-1	029-853-3900	029-853-3072
濱田洋実	筑波大学附属病院産婦人科	305-8576	茨城県つくば市天久保2-1-1	029-853-3900	029-853-3072
原 崇文	原レディースクリニック	312-0018	茨城県ひたちなか市笹野町2-11-10	029-276-9577	029-276-9578
藤村正樹	東京医科大学茨城医療センター産婦人科	300-0395	茨城県稲敷郡阿見町中央3-20-1	029-887-1161	029-887-6266

令和3年1月15日

公益社団法人日本産婦人科医会
会 長 木 下 勝 之 殿

茨城県産婦人科医会
会長 青 木 雅



公益社団法人日本産婦人科医会代議員の選出結果について(報告)

標記について、下記のとおり報告いたします。

記

- 1 選挙の会員への周知方法：(会報・郵便・その他 ())
- 2 選挙日：令和3年12月2日
- 3 代議員定数： 1人
- 4 立候補者数： 1人
- 5 投票方法：(単記・連記・制限連記・無投票)
- 6 代議員選出者名
 - (1) 氏 名 青 木 雅 弘 (61歳)
勤務先名 青木医院 電話 029-221-8603
住 所 〒310-0815 茨城県水戸市本町3-4-7
 - (2)
- 7 予備代議員
なし

令和 2 年茨城県産婦人科医会並びに
茨 城 産 科 婦 人 科 学 会 総 会

次 第

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 議 事

第 1 号議案 平成 3 1 年（令和元年）度茨城県産婦人科医会事業報告

第 2 号議案 平成 3 1 年（令和元年）度茨城県産婦人科医会歳入歳出決算

第 3 号議案 平成 3 1 年（令和元年）度茨城産科婦人科学会事業報告

第 4 号議案 平成 3 1 年（令和元年）度茨城産科婦人科学会歳入歳出決算

第 5 号議案 令和 2 年度茨城県産婦人科医会事業計画（案）について

第 6 号議案 令和 2 年度茨城県産婦人科医会歳入歳出予算(案)について

第 7 号議案 令和 2 年度茨城産科婦人科学会事業計画（案）について

第 8 号議案 令和 2 年度茨城産科婦人科学会歳入歳出予算(案)について

4. その他

5. 閉 会

第1号議案

平成31年度（令和元年度）茨城県産婦人科医会事業報告

1 庶務関係

1) 会員の状況

令和2年3月末日現在の会員数県母181名で内訳は下記のとおりです。

学会289名

区 別	正会員	準会員	免除会員	学会員のみ	合 計
水戸地区	50	4	14	26	94
県 南	52	20	7	76	155
県 北	8	1	3	1	13
県 西	17	2	3	5	27
合 計	127	27	27	108	289

2) 新規入会者

地区別	氏 名	会 員	地区別	氏 名	会 員
水戸地区	島みなみ	学	水戸地区	桑島一彦	正
水戸地区	久保谷託也	学	水戸地区	村岡由真	学
水戸地区	三澤亜純	学	水戸地区	野口健朗	学
水戸地区	大貫 稔	正	水戸地区	坂場大輔	学
水戸地区	福地弘子	正	県北地区	角田 肇	正
県西地区	若佐谷敦	正	県南地区	長谷川怜奈	学
県南地区	吉岡伸人	学	県南地区	小堀理人	正
県南地区	栗原大地	学	県南地区	村上楠菜	学
県南地区	小口早綾	学	県南地区	小菅悠希	学
県南地区	久後ゆい	学	県南地区	星野沙也加	学
県南地区	伊藤菜摘	学	県南地区	高橋美穂	学
県南地区	宮代夢子	学	県南地区	寺本有里	学
県南地区	瀬賀雅康	学	県南地区	渡邊菜月	学
県南地区	佐久間早希	学			

3)退会者

地区別	氏 名	会 員	地区別	氏 名	会 員
水戸地区	鯉江芳行	免	水戸地区	小野隆房	正
水戸地区	山本正夫	免	水戸地区	吉川裕之	学
県南地区	Bouchira Lachkar	学	県南地区	劉シュウ怜	学
県南地区	西田慈子	学	県南地区	倉富由理	学
県南地区	石島 光	正	県南地区	石島 明	正
県南地区	光井潤一郎	学	県南地区	船崎俊也	学
県南地区	倉富由理	学	県南地区	福持光男	学
県南地区	小岩由紀子	学	県南地区	中山陽比古	正
県北地区	永光雄造	正	県北地区	諸原英雄	免

4) 物故会員

地区別	氏名	逝去日
県南地区	宮川創平	R1.11.2

5) 過去10年間の推移

年度	正会員	準会員	免除会員	学会員のみ	合 計
31年	127	27	27	109	290
30年	128	29	27	97	281
29年	130	33	28	87	278
28年	131	35	27	75	268
27年	130	36	30	74	270
26年	133	35	27	76	271
25年	135	36	25	70	266
24年	134	36	30	69	269
23年	141	36	34	64	275
22年	147	33	29	66	275

月日別事業報告

月日別：県母主催会議、講習会及び対外活動の記録

平成31年

- 4月6日(土) 平成31年県母・学会合同総会 県医師会
- 4月6日(土) 平成31年度第1回県母・学会合同理事会 県医師会
- 4月6日(土) 第188回茨城産科婦人科学会学術講演会 県医師会
- 4月11日(木)、12日(金)、13日(土)、14日(日)
第71回日本産科婦人科学会学術講演会 名古屋国際会議場
- 4月14日(日) 第44回全国産婦人科教授との懇談会 愛知県
- 5月11日(土) 関ブロ幹事会 東京産婦人科医会
- 5月25日(土) 第1回日本産婦人科医会理事会 日産婦医会会議室
- 5月26日(日) 母体救命講習会 県西部メディカルセンター
- 6月1日(土) 関ブロ役員会・各都県医会会長会 如水会館
- 6月1日・2日(土)(日) 第5回母と子のメンタルヘルスフォーラム 岡山県
- 6月9日(日) 日産婦医会第90回総会(定時) 品川プリンスホテル
- 6月 日(木) 茨城県被害者支援センター総会
- 6月16日～15日(日)
第137回関東連合産婦人科学会学術集会 日本都市センターホテル
- 6月23日(日) 母体救命講習会 県立中央病院
- 6月30日(日) 茨城ART懇話会(市民公開講座) 茨城県開発公社
- 7月7日(日) 第47回全国献金担当者連絡会 日産婦医会会議室
- 7月28日(日) 第42回日本産婦人科医会性教育指導セミナー全国大会 大阪府
- 8月3日(土) 令和元年度母体保護法指定医師研修会 茨城県医師会
- 8月8日(木) 第2回県母・学会合同理事会・納涼会 オークラフロンティアホテルつくば
- 8月3日(土) 令和元年度母体保護法指定医師研修会 県医師会
- 9月8日(日) 母体救命講習会 日立消防署
- 9月10日(火) 「性被害者サポートネットワーク茨城」研修会 茨城県医師会
- 9月22日(日) 地域代表全国会議 京王プラザホテル
- 9月22日(日) 日本産婦人科医会第2回理事会 京王プラザホテル
- 9月29日(日) 関ブロ協議会&社保協議会、各都県医会会長会、
社保委員会、母子権委員会 ホテルメトロポリタン長
- 10月6日(日) 全国医療安全担当者連絡会 日産婦医会会議室

10月13日(日) コ・メディカル生涯研修会 ステーションコンファレンス東京
10月19日(土)～20日(日)

第138回関東連合産科婦人科学会総会・学術集会 ベイシア文化ホール(群馬県
前橋市)

10月19日(土) 関プロ幹事会、広報委員会 東京産婦人科医会
10月6日(日) 第28回全国医療安全担当者連絡会 日産婦医会会議室
10月12日(土) 創立70周年記念式典 京王プラザホテル
10月16日(水) 茨城県被害者支援連絡協議会総会 茨城県警察本部9階会議室
10月13日(日) 第46回日本産婦人科医会学術集会 ステーションコンファレンス東京
10月13日(日) コ・メディカル生涯研修会 ステーションコンファレンス東京

11月9日(土) 母体救命講習会 土浦協同病院
11月9日(土) 関プロ各都県医会会長会 如水会館
11月12日(火) HPV 市民公開講座 イーアスホール
11月16日(土) 第189回茨城産科婦人科学会(茨城医学会総会分科会)
11月24日(日) 第37回水戸周産期懇話会 水戸市医師会看護専門学院
12月7日(土) 令和元年度家族計画・母体保護法指導者講習会 日本医師会
12月8日(日) 茨城県エイズ・性感染症予防啓発大会 茨城県医師会
12月11日(水) 令和元年度子宮がん検診従事者講習会 県医師会
12月14日(土) 関プロ広報委員会 東京産婦人科医会
12月22日(日) 茨城 ART 懇話会(市民公開講座) つくば国際会議場

2020年

1月19日(日) 母体救命講習会 鹿島保健センター
1月26日(日) エイズ・性感染症予防啓発指導員養成講習会 県医師会
2月1日(土) 関プロ幹事会、社保委員医会 東京産婦人科医会
2月15日(土) 第3回日産婦医会理事会 日産婦医会会議室
2月15日(土)、16日(日) 母体救命講習会 つくばセントラル病院

学術講演会事業報告

平成31年

4月6日(土) 平成31年茨城県産婦人科医会並びに茨城産科婦人科学会総会
第188回茨城産科婦人科学会学術講演会 於) 県医師会
「茨城県におけるがん・生殖医療の現状と今後の展望」

1. 筑波大学 産科婦人科 講師 岩淵 敦 先生
2. 筑波大学 腎泌尿器外科 講師 古城 公佑先生

令和元年

5月25日(土) 茨城県産婦人科医会県南・県西学術講演会
於) オークラフロンティアホテルつくば
「当院における LEP 処方現状～『毎月くるもの』の呪縛からの解放」
つくばセントラル病院 産婦人科 部長 田中奈美先生

5月30日(木) 第11回土浦地区産婦人科臨床検討会
於)) L' AUBE KASUMIGAURA
「いのちを繋ぐ～女性のライフサイクルと漢方～」
～産後うつ、PMSに伴う精神・身体症状の改善について～

香川県立保健医療大学保健医療学部看護学科
香川大学医学部附属病院女性外来 塩田 敦子先生

6月13日(木) 茨城県産婦人科医学学術講演会
於) ホテル・ザ・ウエストヒルズ
「フレキシブルレジメン LEP の意義を考える」
ー連続投与の有用性と導入の工夫ー

聖路加国際病院 副院長 女性総合診療部 部長 百枝 幹雄先生
「卵巣子宮内膜症性嚢胞の癌化について」

筑波大学医学医療系 産科婦人科学 病院助教授 板垣 博也先生
「子宮内膜症手術および術後の薬剤治療選択」

水戸赤十字病院 産婦人科 部長 竹中 慎先生
6月30日(日) 不妊に関する市民公開講座 於) 茨城県開発公社
「不妊治療からみる妊活」

国分寺ウーマンズクリニック院長 谷垣 礼子先生
「内科からみた妊活」

国立成育医療研究センター 副センター長 村島 温子先生
「自分ごとで健やかになる妊活支援」～10年の不妊治療を経て～

NPO 法人 Fine 公認ピア・カウンセラー 渡邊 雅代先生

6月30日（日）第36回茨城生殖医学懇話会

於）茨城県開発公社

「母性内科からみた妊活」

国立研究開発法人 国立成育医療研究センター

副センター長 村島 温子先生

「不妊治療からみる妊活」

国分寺ウーマンズクリニック 院長 谷垣 玲子先生

「筑波大学生殖外来における妊孕性温存治療の現状と課題」

筑波大学 医学医療系 産婦人科 准教授 川崎 彰子先生

「子宮内膜症、腺筋症と妊孕性」

筑波大学 医学医療系 産婦人科 病院助教 板垣 博也先生

「成育基本法とプレコンセプション」

石渡産婦人科病院 院長 石渡 勇先生

「着床前診断 PGT の現状について」

群馬パース大学 保健科学研究科 教授 荒木 康久先生

「自分事で健やかになる妊活支援」

NPO 法人 Fine 公認ピア・カウンセラー 渡邊 雅代先生

7月11日（木）茨城県産婦人科医会県北支部会学術講演会 於）ホテル天地閣

「月経困難症を再考する」

日立総合病院 産婦人科 主任医長 角田 肇先生

7月25日（木）つくば VTE Meeting in Gynecologic Oncology

於）オークラフロンティアホテルつくば

「婦人科悪性腫瘍に合併した Trousseau 症候群に対する抗血栓療法」

筑波大学医学医療系 産婦人科学 鈴木 あすか先生

「DVT 既往妊婦の周産期管理」

土浦協同病院 産婦人科 武内 史緒先生

「卵巣癌に合併した肺塞栓症に対する抗凝固療法」

霞ヶ浦医療センター 産婦人科 小口 早綾先生

「がん関連血栓症のエビデンスと今後の展望」

埼玉医科大学国際医療センター

包括的がんセンター 婦人科腫瘍科 主任教授

がんゲノム医療センター 福センター長 国際診療支援部 副部長

長谷川 幸清先生

8月3日（土）令和元年度母体保護法指定医師研修会

於）茨城県医師会

「母体保護法の趣旨と適正な運用について」

石川クリニック院長 石川 和明先生

「生命理論について」

筑波学園病院 産婦人科部長 岡本 一先生

「医療安全・救急処置について」

石渡産婦人科病院 病院長 石渡 勇先生

9月19日(木) 水戸臨床婦人科懇話会 於) 三の丸ホテル

「子宮筋腫の薬物療法ー経口 GnRH アンタゴニストの使用経験を含めてー

千葉大学大学院医学研究院 生殖医学講座 助教 石川 博士先生

9月25日(水) 茨城県産婦人科医会県南支部学術講演会

於) L' AUBE KASUMIGAURA

「子宮筋腫の治療と GnRH アンタゴニストの役割」

東京大学大学院医学研究科 産婦人科学講座 准教授 平池 修先生

9月28日(土) 第38回茨城県母性衛生学会学術集会 於) 茨城県立医療大学

「現代社会における父性」

常磐大学人間科学部 教授 秋山 邦久先生

9月28日(土) 茨城県母性衛生学会学術集会 ランチョンセミナー

於) 茨城県立医療大学

「女性の健康を守る ホルモン療法の基礎のキソ」

四季レディースクリニック 院長 江夏 亜希子先生

9月28日(土) 婦人科臨床研究会

於) ホテルグリーンコア

「産婦人科とガイドライン」

茨城県立中央病院 茨城県地域がんセンター 病院長 吉川 裕之先生

「新たな時代の産婦人科医療は？」

独立行政法人 国立病院機構 京都医療センター 院長 小西 郁生先生

10月12日(土) 第3回 茨城女性医療セミナーのご案内

於) つくば国際会議場

「女性ヘルスケアをめぐる最近の話題」

九州大学大学院医学研究院 生殖病態生理学 教授 加藤 聖子先生

11月8日(金) Masters Summit on PE/DVT in Tsukuba

於) オークラフロンティアホテルつくば

「婦人科がん治療における Oncology - Cardiology」

筑波大学医学医療系 循環器内科 助教 田尻 和子先生

「VTE Management on Special populations」

Consultant Haematologist, King's Thrombosis

Centre, Department of Haematological Medicine, King's College Hospital
London, UK Raj Patel 先生

11月12日(火) HPV 関連癌と HPV ワクチンの正しい理解のために

於) イーアスホール

「子宮頸がんとその予防のための HPV ワクチンの正しい知識」

茨城県立中央病院 院長 吉川 裕之先生

「あの痙攣は本当に子宮頸がんワクチンの副反応なのか」

京都大学大学院医学研究科非常勤講師 村中 璃子先生

「子宮頸がんワクチン積極的接種再開に向けた日本産婦人科医会等の活動」

日本産婦人科医会 副会長 石渡 勇先生

11月16日(土) 第41回茨城医学会産婦人科分科会

第189回茨城産科婦人科学会例会 於) 茨城県医師会

「今後の周産期医療体制を考える～地域連携と助産師との協働～」

信州大学医学部保健学科長 金井 誠先生

他, 一般演題 12題

11月19日(火) 茨城県南コンセプションケア研究会

～妊娠・授乳中の薬の適正使用を考える～ 於) L'AUBE KASUMIGAURA

「妊娠中・授乳中の患者さんのお薬について」

総合病院土浦協同病院 薬剤部 主任

妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師 原信田 弘子先生

「合併症妊婦における最新治療薬への対応 - 膠原病・リウマチを中心に -」

国立成育医療研究センター周産期・母性診療センター

主任副センター長 妊娠と薬情報センター センター長 村島 温子先生

11月21日(木) 茨城県産婦人科臨床フォーラム

於) 水戸京成ホテル

「妊娠中期における胎児エコーの精密検査」

水戸赤十字病院 産婦人科 豊澤 秀康先生

11月22日(金) 婦人科臨床研究会

於) ホテルグリーンコア土浦

「産婦人科診療に役立つ排尿疾患の知識」

東京医科大学茨城医療センター 泌尿器科 教授 青柳 貞一郎先生

11月24日(日) 第37回 水戸周産期懇話会

於) 水戸市医師会看護専門学院

「周産期医療における産科医療補償制度と

妊産婦死亡症例登録事業の功績～10年を振り返って～」

石渡産婦人科病院 院長 石渡 勇先生

「妊娠と感染症」

川崎市健康安全研究所 所長 岡部 信彦先生

「遺伝カウンセリングにおける助産師の役割」

信州大学医学部保健学科 教授 中込 さと子先生

「紹介例から学ぶ新生児の見方」

茨城県立こども病院 新生児科 副院長 新井 順一先生

11月26日（火）第87回茨城県南周産期・新生児研究会

於）土浦協同病院

「ステップアップ胎児超音波診断-何が見えるのか、何を見るべきなのか」

獨協医科大学病院総合周産期センター母子医療センター産科部門長

宮下 進先生

11月27日（水）水戸 Rheumatoid Arthritis Seminar 於）水戸京成ホテル

「RAの薬物治療 Updata～WoCABのライフイベントの視点から～」

国立成育医療センター

周産期・母性診療センター 主任副センター長

妊娠と薬情報センター センター長（併任） 村島 温子先生

12月8日（日）第7回 茨城県エイズ・性感染症予防啓発大会

於）茨城メディカルセンター

「HIVの基礎知識」

山梨県立大学 准教授 本間 隆之先生

「HIV感染リスク行動に関する研究から学ぶ

～人権の視点から見た LGBT～」

奈良市立都南中学校 松田 秀代教諭

公益財団法人 いはらき思春期保健協会理事 和田 由香先生

「エイズ 全国各地の予防の取り組みと治療」

ヘルスプロモーション推進センター長 岩室 紳也先生

12月11日（水）令和元年度子宮がん検診従事者講習会 於）県医師会

「HPV感染非関連子宮頸がんの病理」

水戸赤十字病院病理診断科 部長 堀 眞佐男先生

12月22日（日）不妊に関する市民公開講座

～不妊を克服する。～ 於）つくば国際会議場

「不妊体験談～夫婦で感じたこと～」

NPO 法人 Fine 公認ピア・カウンセラー 大塚 弘恵先生

「がん生殖～妊孕性温存に向けた産婦人科の取り組み～」

慶應義塾大学病院 リプロダクションセンター・センター長

浜谷 敏男先生

「漢方を不妊治療にとりいれてみませんか！」

浜松医科大学附属病院 産婦人科 助教／病院講師 中山 毅先生

12月22日（日）第37回茨城生殖医学懇話会

於）つくば国際会議場

「明日からの診療に役立つ漢方 ～生殖医学を中心に～」

浜松医科大学附属病院 産科婦人科 助教／病院講師 中山 毅先生

「がん生殖」における当院産婦人科の取り組み

福島県立医科大学 産科・婦人科学講座 講師

浜谷 敏男先生

「栄養改善型妊孕能向上を目指した取り組み」

～sustainable Development Goals(SDGs)を実践する不妊治療とは～

福島県立医科大学 産科・婦人科学講座 講師 太田 邦明先生

「明日から役立つ！男性不妊治療の現場と最近の話題」

獨協医科大学埼玉医療センターリプロダクションセンター

副センター長 小堀 善友先生

「受精後3PNとなった異常胚の染色体構成について」

群馬パース大学教授／日本リプロジェネティクス ARMT 顧問

荒木 康久先生

「不妊体験談～夫婦で感じたこと～」

NPO 法人 Fine 公認ピア・カウンセラー 大塚 弘恵先生

令和2年

1月23日（木）茨城県産婦人科周術期合併症研究会於）つくば国際会議場

「婦人科手術におけるトラブルシューティング」

東京女子医科大学 産婦人科教室 主任教授 田畑 務先生

1月26日（日）エイズ・性感染症予防啓発指導員養成講習会 於）県医師会

「茨城県におけるエイズ・性感染症予防対策について」

茨城県保健福祉部疾病対策課

「学校における性に関する指導について」

茨城県教育庁学校教育部保健体育課

「『健やか親子21（二次）』の中間評価とHPVワクチン普及啓発に向けた学校教育への期待」

石渡産婦人科病院院長 石渡 勇

2月20日（木）茨城県産婦人科漢方学術講演会 於）エクセルホール

「めまい・更年期治療の現状～女性のライフサイクルと漢方～」

（日本耳鼻咽喉科学会専門医の立場から）

なのはな耳鼻咽喉科 院長 境 修平先生

委員会事業報告

◎合同理事会

平成31年

4月6日(土)第1回県母・学会合同理事会

報告事項

1. 各種委員会報告
2. 4地区支部報告
3. 母体救命講習会報告
4. 医業経営 さんふじんか医療機関の現状アンケート報告
5. 第45回日本産婦人科医会学術集会報告
6. 女性のための健康セミナー市民公開講座報告
7. その他

・協議事項

1. 平成30年度県母・学会総会
 - ・第1号議案 平成30年度茨城県産婦人科医会事業報告
 - ・第2号議案 平成30年度茨城県産婦人科医会歳入歳出決算
 - ・第3号議案 平成30年度茨城産科婦人科学会事業報告
 - ・第4号議案 平成30年度茨城産科婦人科学会歳入歳出決算
 - ・第5号議案 平成31年度茨城県産婦人科医会事業計画
 - ・第6号議案 平成31年度茨城県産婦人科医会歳入歳出予算(案)
 - ・第7号議案 平成31年度茨城産科婦人科学会事業計画(案)
 - ・第8号議案 平成31年度茨城産科婦人科学会歳入歳出予算(案)
2. 役員改選について

8月8日(木)第2回県母・学会合同理事会

於) オークラフロンティアホテルつくば

報告事項

1. 委員会報告
2. 各支部報告
3. 関ブロ、会長
4. 有床診療所連絡協議会
5. 母体救命
6. その他

協議事項

1. 「茨城県産婦人科事業検討ワーキンググループによる今後の県医会事業に関する提言」
2. その他報告事項

◎総務部会

* 不妊専門相談センター事業（茨城県から委託）

平成31年（令和元年）

6月30日（日）不妊に関する市民公開講座 於）茨城県開発公社

テーマ 「プレコンセプションケア」

6月30日（日）第36茨城生殖医学懇話会 於）茨城県開発公社

9月1日（日）グループミーティングおしゃべり会 於）茨城県医師会

テーマ 「誰でもわかる妊活～みんなで心と体のストレッチ～」

12月22日（日）不妊に関する市民公開講座 於）つくば国際会議場

テーマ 「不妊を克服する。」

12月22日（日）第37回茨城生殖医学懇話会 於）つくば国際会議場

令和2年

2月13日（木）茨城県不妊専門相談センタースタッフ会議 於）茨城県医師会

◎広報委員会

平成31年（令和元年）

10月9日（土）日産婦医会関ブロ広報委員会 東京産婦人科医会

◎社保委員会

平成31年（令和元年）

9月29日（日）日産婦関ブロ社保委員会 於）ホテルメトロポリタン長野

令和2年

2月1日（土）日産婦関ブロ社保委員会 於）東京産婦人科医会

◎母子保健委員会

平成31年（令和元年）

- 5月26日(日)母体救命講習会 於)県西部メディカルセンター
(プレホスピタルケア研修会、J-MELS ベーシックコース)
- 6月23日(日)母体救命講習会 於)県立中央病院
(プレホスピタルケア研修会、J-MELS ベーシックコース)
- 9月8日(日)母体救命講習会 於)日立消防署
(プレホスピタルケア研修会、J-MELS ベーシックコース)
- 11月9日(日)母体救命講習会 於)土浦協同病院
(プレホスピタルケア研修会、J-MELS ベーシックコース)
- 1月19日(日)母体救命講習会 於)鹿島保健センター
(プレホスピタルケア研修会、J-MELS ベーシックコース)
- 2月15日(土)母体救命講習会 於)つくばセントラル病院
(プレホスピタルケア研修会、J-MELS ベーシックコース×2、インストラクターコース)

◎医療事故対策委員会

平成31年(令和元年)

3月 平成31年度産婦人科偶発事例報告

◎がん対策委員会

平成31年(令和元年)

11月12日(火)HPV関連癌とHPVワクチンの正しい理解のために

於)イーアスホール

- 1 「子宮頸がんとその予防のためのHPVワクチンの正しい知識」
吉川 裕之先生 茨城県立中央病院 院長
- 2 「あの痙攣は本当に子宮頸がんワクチンの副反応なのか」
村中 璃子先生 京都大学大学院医学研究科非常勤講師
- 3 「子宮頸がんワクチン積極的接種再開に向けた日本産婦人科医会等の活動」
石渡 勇先生 日本産婦人科医会 副会長

12月11日(水)茨城県子宮がん検診従事者講習会

於)県医師会

「HPV感染非関連子宮頸がんの病理」

堀 眞佐男先生 水戸赤十字病院病理診断科

◎学術研修委員会

◎医業経営委員会

令和2年

2月28日(金)「産婦人科自費診療調査アンケート集計結果」会員へ送付

◎性教育委員会

平成31年(令和元年)

7月28日(日)第42回日本産婦人科医会性教育指導セミナー全国大会

大阪府

第2号議案

平成31年度茨城県産婦人科医会一般会計決算について

平成31年度茨城県産婦人科医会一般会計は下記のとおり決算しましたのでご承認を求める。

令和2年3月31日
茨城県産婦人科医会長 青木 雅弘

記

平成31年度茨城県産婦人科医会歳入歳出決算書

歳入の部

科	目	31年度	31年度	比較	説 明
款	項	予算額	決算額	増減	
1. 会 費		3,288,000	3,253,000	△ 35,000	
	1. 会費	3,287,000	3,253,000	△ 34,000	正127準26
	2. 過年度収入	1,000	0	△ 1,000	
2. 補助金		160,000	150,000	△ 10,000	
					公開講座・研修会補助金
	1. 補助金	160,000	150,000	△ 10,000	
	2. 県医補助金	0	0	0	
3. 手数料		220,000	221,005	1,005	
	1. 手数料	220,000	221,005	1,005	日産医会会費還元金 献金還元金、委託事務費
4. 繰越金		263,911	263,911	0	
	1. 繰越金	263,911	263,911	0	
5. 繰入収入		1,000,000	0	△ 1,000,000	
	1. 繰入収入	1,000,000	0	△ 1,000,000	預貯金から
6. 研究費		0	0	0	
	1. 研究費	0	0	0	
7. 事業費		200,000	1,203,000	1,003,000	
	1. 事業費	200,000	1,203,000	1,003,000	妊婦等相談事業（日産婦）
8. 雑収入		150,000	156,808	6,808	
	1. 雑収入	150,000	156,808	6,808	医報広告料, 利息 保険冊子代
歳入合計		5,281,911	5,247,724	△ 34,187	

歳出の部

科	目	31年度	31年度	比較	説 明
款	項	予算額	決算額	増減	
1. 事務費		2,830,000	2,653,074	△ 176,926	
	1. 旅 費	800,000	523,000	△ 277,000	県内外出張旅費
	2. 需用費	400,000	372,857	△ 27,143	県母医報等送料、事務費他 電話代1/3分コピー代関ブ 香典・生花被害者支援
	3. 交際費	100,000	76,500	△ 23,500	
	4. 諸手当	1,400,000	1,532,000	132,000	職員給与
	5. 手数料	30,000	28,317	△ 1,683	EB手数料他
	6. 雑 費	100,000	120,400	20,400	親和会・勤労福祉サービス 福利厚生費他
2. 会議費		500,000	334,320	△ 165,680	
	1. 会議費	400,000	237,250	△ 162,750	理事会
	2. 食糧費	100,000	97,070	△ 2,930	会議・その他食事
3. 事業費		1,390,000	1,167,584	△ 222,416	
	1. 学術講演費	300,000	0	△ 300,000	市民公開講座（女性アスリート）
	2. 渉外費	30,000	0	△ 30,000	
	3. 広報宣伝費	650,000	96,495	△ 553,505	医報印刷代
	4. 医療事故 対策費	30,000	0	△ 30,000	
	5. がん対策費	50,000	0	△ 50,000	
	6. 母子保健費	200,000	47,746	△ 152,254	メンタルヘルス冊子代 CTGセミナー・周産期懇話会
	7. 社保対策費	50,000	0	△ 50,000	
	8. 医業経営 対策費	30,000	0	△ 30,000	
	9. 福利厚生費	0	0	0	
	10. 性教育・ STD教育	30,000	0	△ 30,000	
	11. 委託事業	0	1,000,000	1,000,000	おぎゃー献金寄付
	12. 雑費	20,000	23,343	3,343	ネット代他
4. 会館管理費		0	0	0	
	1. 会館管理費	0	0	0	
5. 予備費		561,911	0	△ 561,911	
	1. 予備費	561,911	0	△ 561,911	
歳出合計		5,281,911	4,154,978	△ 1,126,933	

歳 入 合 計 5,247,724

(注) △減

歳 出 合 計 4,154,978

差 引 残 高 1,092,746

令和2年度へ繰越

監 査 報 告 書

平成31（令和元）年度茨城県産婦人科医会歳入歳出決算については、関係諸帳簿、証ひょう書類に基づいて監査を実施した結果正確に処理されているものと認めます。

令和2年 5月 / 日

茨城県産婦人科医会

監事 石渡 勇

監事 西田 正人

第3号議案

令和元年度茨城産科婦人科学会事業報告 (H31.4.1～令和2.3.31)

平成31年

4月7日(土) 平成30年県母、学会合同総会

於) 茨城県医師会

第188回茨城産科婦人科学会学術講演会

当番幹事 座長 筑波メディカルセンター病院 西出 健

《特別講演》

1. 「茨城県におけるがん・生殖医療の現状と今後の展望」

1. 筑波大学 産科婦人科 講師 岩淵 敦 先生

2. 筑波大学 腎泌尿器外科 講師 古城 公佑先生

4月11日(木)～14日(日) 日本産科婦人科学会 第71回学術講演会

学術集会長 名古屋大学教授 吉川 史隆

於) 名古屋国際会議場

◎生涯教育プログラム

性文化(総論, 性同一性障害, 治療)

1) 総論

筑波大学 濱田 洋実

◎J-CIMELS ワークショップ

救急救命士との協働を目指した取り組み

つくばセントラル病院 長田 佳世

◎ポスター会場

○Group16 卵巣・卵管・腹膜悪性腫瘍一科学療法1

当院における卵巣癌・腹膜癌に対する second line としての Docetaxel-
Carboplatin 療法の後方視的検討

茨城県立中央病院 道上 大雄 他

○Group22 母子感染

当院における風疹低抗価妊婦の検討

NTT 東日本関東病院 宮代 夢子 他

○Group24 合併症妊娠ー神経疾患

妊娠中にステロイドパルス療法を施した Tolosa-Hunt 症候群の1例

土浦協同病院 北野 理絵 他

○Group27 医学教育・研修

初期臨床研究における『妊娠・授乳と薬』に関する研修の現状

筑波大 八木 洋也 他

○Group49 卵巣・卵管・腹膜悪性腫瘍－科学療法3

再発卵巣癌患者に対するオラパリブの使用経験

筑波大 志鎌 あゆみ 他

○Group55 合併症妊娠－血液疾患

ヘパリンアレルギーを生じた深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症合併妊娠の一例

土浦協同病院 森脇 隆太 他

○Group58 周産期災害対策・その他

病院薬剤師における産婦人科診療ガイドライン－産科編 2017「妊娠・授乳と薬」関連 CQ&A の認知状況

筑波大 小畠 真奈 他

ポスター会場5

○Group84 合併症妊娠－神経・内分泌疾患

視力低下と頭痛を契機に診断された下垂体出血合併妊娠の1例

土浦協同病院 野間 友梨子 他

○Group88 産科DIC・産科出血・羊水塞栓1

当院での Bakri バルーン使用における後方視的検討

水戸赤十字病院 福地 弘子 他

○Group91 当院で経験した子癇症例における臨床的検討

土浦協同病院 蓑家 翔吾 他

○Group97 予定帝王切開設定時期の変更による母児の周産期予後の検討

筑波大 細川 義彦 他

○Group116 当院における向精神薬・精神病薬を内服中の妊娠から

出生した児の短期予後

茨城県立中央病院 漆川 邦 他

○Group130 内分泌療法を中断し生殖医療を施行した乳癌・肺癌併発

Li-Fraumeni 症候群の治療経過

筑波大 森 悠樹 他

6月15日(土)～16日(日)

第137回関東連合産科婦人科学会総会・学術集会

担当 東邦大学医学部 産科婦人科学講座

於) 都市センターホテル

若手ポスター(周産期)

◎ポスター会場①

○妊娠合併症 塩酸リトドリンによる横紋筋融解症から筋強直性筋ジストロフィー合併妊娠を疑われた一例

土浦協同病院 倉富 由理

◎ポスター会場②

○胎児 胎児水腫を適応とした緊急帝王切開後に母体症状憎悪し診断されたミラー症候群の1例

水戸済生会総合病院 照屋 浩実

○胎児治療を行った母体抗 SS-A 抗体陽性による胎児完全房室ブロックの症例

筑波大学 東 福祥

◎ポスター会場③

○免疫チェックポイント阻害薬により無増悪生存が得られている、転移再発外陰性黒色腫の一例

茨城県立中央病院 久保谷 託也

若手ポスター

○塩酸リトドリンによる横紋筋融解症から筋硬直性筋ジストロフィー合併妊娠を疑われた一例

倉富由理、島袋剛二、坂本雅恵、遠藤誠一、市村麻衣子、北野理恵、松岡竜也、光井潤一郎、山内郁乃、寺本有里

総合病院土浦協同病院 産婦人科

○胎児水腫を適応した緊急帝王切開後に母体症状憎悪し診断されたミラー症候群の一例

照屋浩実、人見義郎、安達結華、須藤優子、加藤 敬、児玉 理
中村佳子、山田直樹、藤木 豊

水戸済生会総合病院産婦人科

○胎児治療を行った母体抗 SS-A 抗体陽性による胎児完全房室ブロックの症例
東 福祥、飯場萌絵、佐藤莉都、原 絢香、筑田陽子、阿部春奈、大原玲奈、八木洋也、高橋実穂、小畠真奈、濱田洋実、佐藤豊実

筑波大学産婦人科，筑波大学小児科

○免疫チェックポイント阻害薬により無増悪生存が得られている、転移再発外陰悪性黒色腫の一例

久保谷託也、道上大雄、石黒慎吾、渡邊明恵、鈴木あすか、高尾 航、玉井はるな、阿部加奈子、漆川 邦、高野克己、吉川裕之

茨城県立中央病院産婦人科，茨城県立中央病院腫瘍内科

第187回茨城産科婦人科学会例会発表優秀賞

役立つと思われた演題

1位 当院妊婦の麻疹抗体保有状況と産後のワクチン接種

つくばセントラル病院 産婦人科

辻本夏樹、長田佳世、小倉絹子、岡村麻子、田中奈美、柴田衣里
理解しやすかった発表演題

1位 院内助産（助産ケア中心の妊娠・出産支援システム）で管理されていた低
リスク妊婦に発症した分娩子癰の1例

茨城県立中央病院 産婦人科

石塚菜摘、阿部加奈子、渡邊明恵、鈴木あすか、高尾 航、道上大雄
漆川 邦、高野克己、沖 明典、吉川裕之

〈特別講演〉

「今後の周産期医療体制を考える～地域連携と助産師との協働～」

信州大学医学部保健学科長 金井 誠 先生

第138回関東連合産科婦人科学会総会・学術集会

10月19日（土）～20日（日）

担当 群馬大学大学院医学系研究科産科婦人科学
於）ベイシア文化ホール（群馬県民会館）

◎ランチョンセミナー7

○更年期女性における漢方とエクオールの可能性

筑波大学附属病院 加藤 士郎

◎ポスター会場 若手ポスター（周産期）妊娠

○塩酸リトドリン使用中に無顆粒球症をきたした切迫早産の一例

総合病院土浦協同病院 鎌形 美那

◎ポスター会場 若手ポスター（周産期）胎児

○出産後に診断された気管無形成の一例

水戸済生会総合病院 島 みなみ

○胎児心房粗動の臨床像

筑波大学 堤 春香

◎ポスター会場 若手ポスター（腫瘍）子宮体癌

○高齢子宮体癌患者の予後に関する後方視的検討

筑波大学 星野沙也加

○子宮内膜異型増殖症の再発後に MPA 療法を再施行し体外受精にて生児を
獲得した一例

筑波大学 伊藤 菜摘

◎ポスター会場 若手ポスター（生殖・女性医学）その他生殖・女性医学

○S 状結腸子宮内膜症術後に潰瘍性大腸炎を発症した1例

筑波メディカルセンター病院 渡邊 明恵

◎ポスター会場 若手ポスター（腫瘍）その他悪性腫瘍

○初発・再発時に皮膚症状を呈した抗 TIF-1 γ 抗体陽性皮膚筋炎合併、腹膜癌・肝細胞癌の一例

茨城県立中央病院 原 絢香

◎一般演題（腫瘍）子宮頸癌・子宮体癌

○化学療法施行中に炭酸リチウム中毒を発症した進行子宮体癌の1例

筑波大学 小菅 悠希

○子宮体癌に対するリンチ症候群 (LS) のユニバーサルスクリーニング (US) の効用

茨城県立中央病院 道上 大雄

◎一般演題（腫瘍）卵巣癌

○チョコレート嚢胞より発症し、急激に増大した卵巣扁平上皮癌の一例

茨城県立中央病院 兒玉 理

◎優秀演題賞候補（腫瘍）

○卵巣癌サーベイランス継続中に予防的卵巣卵管摘出術を決意した2例

筑波大学 志鎌 あゆみ

◎若手ポスター 妊娠

○塩酸リトドリン使用中に無顆粒球症をきたした切迫早産の一例

総合病院土浦協同病院産婦人科

鎌形美那、市川麻以子、船崎俊也、武内史緒、寺本有里、竹谷陽子、
光井潤一郎、松岡竜也、北野理絵、遠藤誠一、坂本雅恵、島袋剛二

◎若手ポスター 胎児

○出生後に診断された気管無形成の一例

水戸済生会総合病院産婦人科

島 みなみ、山田直樹、照屋浩実、東 福祥、佐々木怜子、加藤 敬、
人見義郎、中村佳子、藤木 豊

○胎児心房粗動の臨床像

筑波大学産科，筑波大学小児科

堤 春香、細川義彦、飯場萌絵、阿部春奈、大原玲奈、八木洋也、
小畠真奈、濱田洋実、高橋実穂

◎若手ポスター 子宮体癌

○高齢子宮体癌患者の予後に関する後方視的検討

筑波大学産婦人科

星野沙也加、田坂暢崇、蒲田 郁、施 恵子、板垣博也、細川義彦、
秋山 梓、志鎌あゆみ、櫻井 学、越智寛幸、水口剛雄、佐藤豊実

○子宮内膜異型増殖症の再発後に MPA 療法を再施行し体外受精にて生児を
獲得した1例

筑波大学産婦人科

伊藤菜摘、川崎彰子、鈴木あすか、森 悠樹、板垣博也、佐藤豊実

◎若手ポスター その他・女性医学

○S 状結腸子宮内膜症術後に潰瘍性大腸炎を発症した 1 例
筑波メディカルセンター病院

渡邊明恵、野末彰子、西出 健

◎若手ポスター その他悪性腫瘍

○初発・再発時に皮膚症状を呈した抗 TIF-1 γ 抗体陽性皮膚筋炎合併、腹膜癌・
肝細胞癌の一例
茨城県立中央病院産婦人科

原 絢香、高野克己、久保谷託也、玉井はるな、高尾 航、道上大雄、兒玉 理、
阿部加奈子、沖 明典、吉川裕之

臨床調査研究助成対象演題・一般演題口演・優秀演題賞候補

子宮頸癌・子宮体癌

化学療法施行中に炭酸リチウム中毒を発症した進行子宮体癌の 1 例
筑波大学産婦人科

小菅悠樹、櫻井 学、田坂暢崇、秋山 梓、志鎌あゆみ、
越智寛幸、水口剛雄、佐藤豊実

卵巣癌

チョコレート嚢胞より発症し、急激に増大した卵巣扁平上皮癌の一例
茨城県立中央病院産婦人科，水戸済生会総合病院産婦人科

兒玉 理、照屋浩実、足立結華、須藤優子、加藤 敬、
人見義郎、中村佳子、山田直樹、藤木 豊

優秀演題賞候補（腫瘍）

卵巣癌サーベイランス継続中に予防的卵巣卵管摘出を決意した 2 例
筑波大学産婦人科

志鎌あゆみ、小菅悠樹、伊藤菜摘、鈴木あすか、施 恵子、細川義彦、
田坂暢崇、秋山 梓、櫻井 学、越智寛幸、水口剛雄、佐藤豊実

第 4 号議案

平成31年度一般会計決算について
平成31年度茨城産科婦人科学会一般会計は下記のとおり決算しましたのでご承認を求めます。
令和 2 年 3 月 3 1 日 茨城産科婦人科学会会長 佐 藤 豊 実

平成31年度茨城産科婦人科学会歳入歳出決算書

歳入の部

科	目	31年度	31年度	比較	説
款	項	予算額	決算額	増減	明
1. 会費		1,016,000	1,016,000	0	
	1. 会費	1,016,000	1,016,000	0	254人
2. 補助金		720,000	718,800	△ 1,200	
	1. 補助金	720,000	718,800	△ 1,200	県医、学会、公開講座 関東連合・旅費
3. 専門医 地方委員会費		200,000	201,000	1,000	
	1. 専門医地方 委員会費	200,000	201,000	1,000	専門医補助
4. 繰越金		1,929,185	1,929,185	0	
	1. 繰越金	1,929,185	1,929,185	0	
5. 雑収入		20	14	△ 6	
	1. 雑収入	20	14	△ 6	利息
歳入合計		3,865,205	3,864,999	△ 206	

歳出の部

科	目	31年度	31年度	比較	説
款	項	予算額	決算額	増減	明
1. 事務費		586,000	341,026	△ 244,974	
	1. 需用費	312,000	293,696	△ 18,304	コピー・印刷代・事務費他
	2. 通信費	212,000	47,330	△ 164,670	学会プログラム・専門医送料 電話代1/3 他
	3. 雑 費	62,000	0	△ 62,000	福利厚生他
2. 会議費		400,000	55,000	△ 345,000	
	1. 会議費	200,000	55,000	△ 145,000	理事会、県外出張旅費
	2. 食糧費	200,000	0	△ 200,000	
3. 事業費		950,000	400,480	△ 549,520	
	1. 学会開催費	800,000	396,938	△ 403,062	講師謝金・旅費
	2. 代議員会費	80,000	0	△ 80,000	
	3. 専門医制度	50,000	0	△ 50,000	
	4. 雑 費	20,000	3,542	△ 16,458	学会茶菓子代
4. 予備費		1,929,205	0	△ 1,929,205	
	1. 予備費	1,929,205	0	△ 1,929,205	
歳出合計		3,865,205	796,506	△ 3,068,699	

歳 入 合 計 3,864,999
歳 出 合 計 796,506
差 引 残 高 3,068,493 令和 2 年度へ繰越

監 査 報 告 書

平成31（令和元）年度茨城産科婦人科学会歳入歳出決算については、関係諸帳簿、証ひょう書類に基づいて監査を実施した結果正確に処理されているものと認めます。

令和2年 5月12日

茨城産科婦人科学会

監 事 吉川 裕之 
監 事 佐々木 純一 

第5号議案

令和2年度茨城県産婦人科医会事業計画（案）

☆重点事業

県母の基本理念

- ・県母会員の、会員による、会員のための事業、県民の健康・福祉向上のための事業を展開する。

基本的な姿勢

- ・茨城産科婦人科学会との密な協力連携の下に事業を展開する。
- ・茨城県、茨城県医師会、市郡医師会、日産婦医会、保健所等、関連諸団体との協力連携を図る。特に、県医師会、日産婦医会本部との連携強化を図る。
- ・財政の厳しい状況下に経費節減を図る。
- ・4地区支部連携、各種委員会の連携を深める。

県母としての重点事業

1. 会員が安心して医療を実践できる環境の整備を図る（周産期医療、助産を含む）。
 - ・周産期医療体制の充実
 - ・未受診者妊婦対策 0.5%
2. 母子保健事業における県・市町村・茨城県医師会、市郡医師会との協力強化を図る。
3. 医療における医療機関の機能分担と連携強化を図る。
周産期救急医療システムの円滑な稼動（県とも協力）
4. 医療安全対策を実践する。
 - ・医療事故防止のために会員・看護要員の研修を実施する。
（特に、分娩時の胎児モニタリングと新生児蘇生法の実習）
 - ・医療事故に遭遇した会員への適切な支援をする。
 - ・医療過誤リピーターの過誤発生の分析と、今後の再発予防の支援をする。
 - ・偶発事例（事故）報告制度の充実
5. 性教育を実践する。学校・地域保健連携推進事業への強力
6. 会議における資料の事前配布、会議の充実、メールの利用について検討し実践する。
テレビ会議の導入などIT化し会議に参加しやすい環境を整備する。
7. 子宮頸がん受診率の向上・HPVワクチンの普及

総務部会（県母と学会の協力）

1. 会議の企画運営に関すること
2. 業務全般の管理に関すること
3. 規則、渉外、組織作りに関すること
4. 経理（予算、決算、及び資金の運用）に関すること
5. 献金の企画、運営、渉外に関すること
6. 少子化対策に関すること

7. 4 地区支部の活動支援対策に関すること

8. 勤務医に関する事項

9. 会員の福利厚生に関する事項

☆・情報伝達の充実をはかる。

例えば、ホームページ・FAX・Eメール通信網、役員メーリングリスト
テレビ会議、等

- ・経費節減についての具体的方法を検討する。
- ・事業の優先順位を検討する。
- ・県母医報等発刊物の広告募集・確保
- ・不妊専門相談センター事業（茨城県からの委託）
- ・母性健康管理相談事業

☆・女性アスリートへの受診体制の整備

☆・県母・学会、各地区支部ならびに各委員会の横断的連携

☆・医師バンク・助産師バンクの設立に関すること。

☆・勤務医部会の検討

広報委員会（県母と学会の協力）

情報をひろく公開して会員相互の情報交換に役立てる。

1. 記録性を重視した読みやすい医報の発行

年1回発行

具体的内容

巻頭言、学術集会の抄録、各種集会予定、エッセイ、研修医紹介、病院紹介
病院新規赴任者紹介、新規開業紹介、県母委員会活動報告、活動予定、
支部活動予定、委員会出張報告

2. 情報の速報化

県母・学会ホームページ、メーリングリストの管理・更新（総務部会と合同）

☆3. 「関ブロ会報」への協力

母子保健委員会

1. 周産期医療に関すること

地域周産期医療の向上を図る：周産期医療の地域化構想・機能分担
助産所への連携支援（医療法改正にともなう対応を図る）

基本的な考え方：

- ①病院・診療所など医療機関の経営が成り立つようなシステムの構築
- ②各医療機関のレベルアップの推進（企業努力が大切）
講習会、研修会（コメディカルを含む）：学術委員会と協力
- ③周産期医療システムの充実と協力：病診連携の強化を図る。

2. エイズ等性感染症に関すること（感染症対策）

- ①HIV 感染者（特に感染妊婦）及び母子感染の実態調査
- ②HIV 感染者（特に感染妊婦）、感染妊婦から生まれた児のフォローアップ
（会員の協力による）。
- ③妊婦抗 HIV 抗体検査の充実
- ④茨城県性感染症対策専門部会との連携
- 3. 新生児胆道閉鎖症マススクリーニング事業の充実
- 4. 新生児聴力スクリーニング事業への協力、紹介システムの構築
- 5. 風疹・麻疹等予防接種の啓発
- ☆6. 児童虐待防止への協力
- ☆7. 妊娠等の悩み相談事業
- ☆8. タンデムマススクリーニングの周知
- ☆9. 日本母体救命システムの普及
- ☆10. 妊産婦メンタルヘルス

社保委員会

- 1. 社保問題検討会の実施
- 2. 保険請求における査定理由の相談（会員へ）

学術研修委員会（学会と県母の協力；学会が中心となって）

- 1. 学術講演会や公開講座などの企画：開催、テーマ、講師の推薦
- 2. 4 地区支部での研修会の企画（日産婦医会の研修テーマを中心に）
- 3. 県母医報：学術講演要旨の作成および編集担当
- 4. 各種マニュアル作成の企画・協力
- 5. 生涯教育、コメディカル教育
- ☆6. e 医学会カードの普及
- 7. 女性のための健康セミナー16 開催

医業経営委員会

- 1. 経営対策：診療所、病院に期待される診療機能の拡大
- 2. 適正な料金の設定（自費診療部門の料金調査と会員への通知、特に分娩料）
適正な分娩費設定（日産婦医会本部でも検討）
勤務医、コメディカルの確保、病院給食、従業員給料、
当直医、パート医師、勤務医に関する待遇などについて検討
経営のノウハウ、新規開業の相談
- 3. 医業経営委員会よりのアンケート（別紙）
内容 A 人件費
B 医業経営圧迫要因
C 新規開業への協力

D 診療拡大

E 将来展望と対策

☆緊急時協力体制、オペグループ、助産師との交流（産婦人科医療情報交換会（仮名）
隣接する地域医師との交流を図る。各地区に幹事を決めて各地区で行う

4. 女性医師の有する諸問題の検討

医療安全推進・医療事故対策委員会

1. 医療事故防止対策、紛争処理および相談
2. 医療事故に遭遇した会員への適切で速やかな支援（判例集・文献収集）
3. 医療安全対策に関する研修会の企画
院内感染予防も含む
4. 紛争の多い疾患の文献収集（判決例、医療水準の検討）
5. 日産婦医会（日母）への医療事故の報告
- ☆ インフォームド・コンセント、同意書の雛形（日産婦医会案も参考）を作成
- ☆ 偶発事例報告の充実
- ☆ マスコミ対策
- ☆ 小児科医との連携強化（家族への病状の説明など）

がん対策委員会

1. 講習会の開催、子宮がん・乳がん検診の体制強化
2. 子宮癌検診医・医療機関の確保
3. 地域の実情に即した検診のあり方を検討……実施市町村と協力
検診車（医師の確保）・医療機関の確保
管理指導協議会（子宮がん部会）への提言
要精検者のフォローアップ、偽陽性者のフォローアップ（総健と協力）
4. 細胞診検査機関の検討：精度管理向上に向けて
5. 日本臨床細胞学会茨城支部との連携
6. 検診精度の向上（総健・県保健予防課・子宮がん部会と協力）
 - 1) 子宮頸部細胞診採取器具の検討
 - 2) 子宮体がん検診での不良標本の撲滅
 - 3) 子宮がん検診新指針の徹底（対象：20 歳以上、受診間隔：毎年、体癌検診従来通り）
 - 4) 子宮ガン検診の評価および改善案の作成
- ☆7. 子宮頸がん受診率の向上・HPV ワクチンの普及

性教育委員会

1. 実態調査（十代の STD 罹患、人工妊娠中絶数、意識調査）
2. 性教育の実践（講師派遣などを含む；総務部会と共同）

3. 性感染症実態アンケート調査の分析
4. 学校医との関わりを検討
5. 教育委員会との関わりを検討
6. 啓発のための市民公開講座の企画の検討

重点項目

- ・適正な分娩費設定（日産婦医会本部でも検討）
- ・未受診者妊婦対策 0.5%
- ・周産期医療体制の充実
- ・周産期医療の向上（C Pの予防）
 - 分娩時胎児モニタリング研修会
 - 新生児仮死蘇生研修会
- ・偶発事例（事故）報告制度の充実

令和2年度茨城県産婦人科医会歳入歳出予算（案）

歳入の部

科	目	2年度	31年度	比較	説明
款	項	予算額	予算額	増減	
1. 会費		3,332,000	3,288,000	44,000	
	1. 会費	3,331,000	3,287,000	44,000	正130, 準27
	2. 過年度収入	1,000	1,000	0	
2. 補助金		160,000	160,000	0	
	1. 補助金	160,000	160,000	0	公開講座 研修会補助
	2. 県医補助金	0	0	0	
3. 手数料		220,000	220,000	0	
	1. 手数料	220,000	220,000	0	会費還元金、おぎゃー献金
4. 繰越金		1,092,746	263,911	828,835	
	1. 繰越金	1,092,746	263,911	828,835	
5. 繰入収入		0	1,000,000	△ 1,000,000	
	1. 繰入収入	0	1,000,000	△ 1,000,000	預貯金から
6. 研究費		0	0	0	
	1. 研究費	0	0	0	
7. 事業費		200,000	200,000	0	
	1. 事業費	200,000	200,000	0	妊娠等相談事業(日産婦)
8. 雑収入		150,000	150,000	0	
	1. 雑収入	150,000	150,000	0	広告料、利息
歳入合計		5,154,746	5,281,911	△ 127,165	

歳出の部

科	目	2 年度	3 1 年度	比較	説 明
款	項	予算額	予算額	増減	
1. 事務費		1,915,000	2,830,000	△ 915,000	
	1. 旅 費	500,000	800,000	△ 300,000	県内外出張旅費・旅費
	2. 需用費	400,000	400,000	0	送料・事務費コピー機リース代 電話代他
	3. 交際費	100,000	100,000	0	会長交際費、見舞金他
	4. 諸手当	785,000	1,400,000	△ 615,000	職員給与
	5. 手数料	30,000	30,000	0	EB手数料他
	6. 雑 費	100,000	100,000	0	親和会補助・福祉サービス他
2. 会議費		500,000	500,000	0	
	1. 会議費	400,000	400,000	0	理事会・総務部会
	2. 食糧費	100,000	100,000	0	食事代
3. 事業費		1,390,000	1,390,000	0	
	1. 学術研修費	300,000	300,000	0	市民公開講座・研修会費
	2. 渉外費	30,000	30,000	0	
	3. 広報宣伝費	650,000	650,000	0	県母医報印刷代、委員会費
	4. 医療事故対策	30,000	30,000	0	委員会費
	5. がん対策費	50,000	50,000	0	子宮がん検診講習会
	6. 母子保健費	200,000	200,000	0	周産期懇話会 CTGセミナー・委員会費
	7. 社保対策費	50,000	50,000	0	委員会費
	8. 医業経営対策	30,000	30,000	0	委員会費
	9. 福利厚生費	0	0	0	
	10. 性教育・ STD教育	30,000	30,000	0	委員会費
	11. 委託事業	0	0	0	
	12. 雑費	20,000	20,000	0	ネットシステム代
4. 会館 管理費		339,900	0	339,900	
	1. 会館管理費	339,900	0	339,900	
5. 予備費		1,009,846	561,911	447,935	
	1. 予備費	1,009,846	561,911	447,935	
歳出合計		5,154,746	5,281,911	△ 127,165	

第7号議案

平成31年度茨城産科婦人科学会事業計画(案)

1) 総会開催

4月4日(土) 令和2年茨城産科婦人科学会総会 中止

2) 学術集会開催

年2回の学会開催とする。

【予定】

4月4日(土) 中止

第190回茨城産科婦人科学会学術講演会

当番幹事 座長 東京医科大学茨城医療センター 藤村正樹

《特別講演》

北海道大学医学研究院 専門医学系部門 生殖・発達医学分野

教授 渡利英道先生

10月31日(土) 中止

第191回茨城産科婦人科学会例会＜茨城医学会総会分科会＞

(担当幹事：筑波学園病院 和田 篤)

〈一般演題発表及び特別講演〉

3) 専門医資格更新・登録及び審査

4) 日産婦専門医制度委員会開催

茨城産科婦人科学会会則

第1章 総 則

- 名称
第1条 この団体は、茨城産科婦人科学会（以下本学会）と称する。
- 事務所
第2条 本学会は、事務所を茨城県医師会内に置く。
- 支部
第3条 本学会は、茨城県4地区支部と筑波大学に各支部を置く。

第2章 目的及び事業

- 目的
第4条 本学会は、茨城県の産科学及び婦人科学の進歩・発展を図り、もって地域社会の福祉に貢献することを目的とする。
- 事業
第5条 本学会は、前条の目的を達成するために次の事業を行なう。
（1）学術集会の開催
（2）本学会会員の研修
（3）公益社団法人日本産科婦人科学会専門医制度に関する事業
（4）各種の学術的調査研究
（5）その他本学会の目的を達成するために必要な事業

第3章 会員

- 資格
第6条 本学会の会員は、本県内に勤務又は居住し、本学会の目的に賛同する医師又はその他の科学者とする。
- 入退会
第7条 本学会に入会しようとする者は、別に定めるところによりその旨を申し出て会長の承認を得なければならない。
2 本学会に入会しようとする者は、関東連合産科婦人科学会にも入会することとなる。
3 会員が退会しようとするときは、別に定めるところにより退会届を会長に提出しなければならない。
4 会員が他都道府県に移動する場合、所属

機関が存在又は居住する都道府県の産科婦人科学術団体に入会する。

- 移動
第8条 住所又は所属機関に変更がある場合、その旨を本学会へただちに届け出なければならない。
- 会費
第9条 会員は別に定める会費及び分担金を完納しなければならない。
3 会員の会費は、関東連合産科婦人科学会会費とともに一括納入する。
3 既納の会費又は分担金は、いかなる事由があつても返還しない。
4 老齢又は特別な事情がある者には理事会の決議を経て会費を免除することができる。

会員の義務

- 第10条 会員は、本学会の会則を遵守するとともに、所定の会費を納入する義務を負う。

会員の権利

- 第11条 会員は次の権利を有する。
（1）本学会の総会に出席し、議決権を行使すること。
（2）本学会の主催する学術集会、講演会等に参加すること。
（3）公益社団法人日本産科婦人科学会への入会に際し、会長の推薦を得ること。

会員の資格喪失

- 第12条 会員は次の事由によってその資格を喪失する。
（1）退会したとき
（2）死亡し若しくは失踪宣告を受けたとき
（3）除名されたとき
（4）会費を2年以上滞納したとき

除名

- 第13条 会員が次の各号の一に該当するときは、総会において会員現在数の3分の2以上の決議を経て、除名することができる。
（1）この会則その他の規則に違反したとき
（2）本学会の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき

第4章 役員

役員の設定

- 第14条 本学会に、次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 2名
- (3) 理事 若干名
- (4) 監事 2名

役員の選任

第15条 役員は、総会の決議により本学会会員中から選任する。

2 会長及び副会長は、理事会の決議によって理事の中から選出する。

3 役員の選出については別に定める。

4 理事及び監事は相互に兼ねることができない。

役員の職務及び権限

第16条 会長は、本学会の業務を総理し、本学会を代表する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故ある時は会長があらかじめ指名した副会長がその職務を代行する。

3 理事は、理事会を構成し、職務を執行する。

4 監事は、理事の職務の執行及び本学会の財産の状況を監査する。

役員の任期

第17条 本学会の役員の任期は2年とし、再任を妨げない。

2 補欠による役員の任期は、前任者の残務期間とする。

第5章 幹事

幹事の委託

第18条 会長は、役員会の承認を得て、幹事を委託することができる。

幹事の職務

第19条 幹事は、会長、副会長並びに理事の命により、会務に従事する。

幹事の任期

第20条 幹事の任期は、会長の任期と同一とする。

第6章 功績会員

功績会員の推薦

第21条 会員で功労顕著な者は、役員会の承認を経て、会長はこれを功績会員に推薦することが

できる。

功績会員の権利

第22条 功績会員は、役員会に出席して意見を述べるができる。

功績会員の資格期間

第23条 功績会員の資格は終身とする。

第7章 顧問

顧問の委嘱

第24条 本学会に顧問を置くことができる。

2 顧問は、役員会の承認を経て、会長がこれを委嘱する。

顧問の権利

第25条 顧問は、役員会に出席して意見を述べることができる。

顧問の任期

第26条 顧問の任期は、役員の任期に準じる。

第8章 総会

開催

第27条 総会は、定時総会として毎年1回開催するほか、必要がある場合に臨時総会を開催する。

招集

第28条 総会は会長が招集する。

2 臨時総会は理事会が必要と認めたとき、会長が招集する。

3 前項の他、会員の3分の1以上の請求がある場合、役員会の決議を得て会長は臨時総会を招集する。

定足数

第29条 総会は、会員現在数の過半数以上の者が出席しなければ、その議事を開き決議することができない。但し、当該議事につき書面をもってあらかじめ意思を表示した者及び他の会員を代理人として表決を委任した者は出席者と見做す。

権限及び決議

第30条 総会は、次の事項について決議する。決議は出席した会員の過半数をもって行う。但し、(2)号、(3)号のうち理事及び監事の解任及び(6)号については出席した会員の3分の2以上をもって決議する。

令和 2 年度茨城産科婦人科学会歳入歳出予算（案）

歳入の部

科	目	令和 2 年度	3 1 年度	比	説 明
款	項	予算額	予算額	増減	
1. 会費		1,088,000	1,016,000	72,000	
	1. 会費	1,088,000	1,016,000	72,000	272人
2. 補助金		720,000	720,000	0	
	1. 補助金	720,000	720,000	0	県医、学会、関東連合
3. 専門医		200,000	200,000	0	
地方委員会費	1. 専門医地方 委員会費	200,000	200,000	0	専門医補助
4. 繰越金		3,068,493	1,929,185	1,139,308	
	1. 繰越金	3,068,493	1,929,185	1,139,308	
5. 雑収入		20	20	0	
	1. 雑収入	20	20	0	利息
歳入合計		5,076,513	3,865,205	1,211,308	

歳出の部

科	目	令和 2 年度	3 1 年度	比	説 明
款	項	予算額	予算額	増減	
1. 事務費		1,235,000	586,000	649,000	
	1. 需用費	300,000	312,000	△ 12,000	印刷代他事務費
	2. 通信費	100,000	212,000	△ 112,000	電話・プログラム送料
	3. 諸手当	785,000	0	785,000	専門医送料
	4. 雑 費	50,000	62,000	△ 12,000	職員給与
2. 会議費		400,000	400,000	0	
	1. 会議費	200,000	200,000	0	県外出張旅費、理事会
	2. 食糧費	200,000	200,000	0	会議費
3. 事業費		950,000	950,000	0	
	1. 学会開催費	800,000	800,000	0	学会・会議食事代他
	2. 代議員会費	80,000	80,000	0	講師謝金、旅費
	3. 専門医制度	50,000	50,000	0	会場費他
	4. 雑 費	20,000	20,000	0	代議員関係
4. 会館 管理費		339,900	0	339,900	
	1. 会館管理費	339,900	0	339,900	専門医・e医学会カード
5. 予備費		2,151,613	1,929,205	222,408	
	1. 予備費	2,151,613	1,929,205	222,408	図書券・茶菓子等
歳出合計		5,076,513	3,865,205	1,211,308	

茨城県産婦人科医会会則

第1章 総 則

(名称)

第1条 本会は、茨城県産婦人科医会と称する。

(事務所)

第2条 本会は、事務所を茨城県医師会内に置く。

(目的)

第3条 本会は、産婦人科医療の実践により、生命倫理の高揚と母子の生命健康を保護するとともに、女性の健康を保持・増進し、もって県民の福祉に貢献することを目的とする。

(事業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 女性とくに母子の保健に関する法（母体保護法、母子保健法等）の適正な運用と実施の増進。
- (2) 会員の学術研修の増進、茨城産科婦人科学会と連携し、専門知識の向上
- (3) 会員の品位向上と福祉の増進及び親睦
- (4) 関係諸官庁の施策に対する建議と協力
- (5) 県医師会その他関連の団体との連絡及び提携
- (6) その他本会の目的達成に必要な事業

第2章 会 員

(種別)

第5条 本会の会員は、次の4種とする。

- (1) 正会員 茨城県内に開業、もしくは医療機関等に勤務する母体保護法指定医師及び産婦人科医師、或いは理事会が承認するものとする。
- (2) 準会員 茨城県内に開業、もしくは診療機関等に勤務し母体保護法指定医師又は日本産科婦人科学会認定の専門医の資格の取得等のため、産婦人科研修中の医師であって理事会が承認するものとする。
- (3) 名誉会員 本会の役員を退いた満65歳以上の正会員であって、本会に功労顕著なもの

で会長が推薦し理事会において承認されたもの。

(4) 顧問 理事会の承認を経て会長がこれを委嘱したもの

(入会)

第6条 本会に入会しようとするものは、その年度の会費を添え申し込むものとする。
(会費および分担金)

第7条 会員は、会費及び分担金を収めなければならない。会費及び分担金は減免することができる。

(資格の喪失)

第8条 会員は、次の場合資格を喪失する。

- (1) 退会
- (2) 死亡
- (3) 除名

(退会)

第9条 本会を退会しようとするものは、その旨を会長に届けなければならない

(除名)

第10条 会員で、会則に違反し、本会の名誉を著しく傷つけ、又は2年以上の会費滞納者は本会の総会の決議を得て、除名することできる。

第11条 退会、又は除名された会員が既に納入した会費、その他の抛出金品は返金しない。

第3章 役 員

(役員)

第12条 本会に次の役員を置く。

会 長	1名
副会長	3名
理 事	若干名
監 事	2名

(役員の職務及び権限)

第13条 会長は、本会を代表し、会務を総理する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故ある

ときは、会長があらかじめ定めた順位により職務を代理する。

- 3 理事は、会の業務を分担処理する。
- 4 監事は、会務及び財産を監査する。
- 5 会長は本会の円滑な運営をはかるため、理事の中から、幹事長及び副幹事長各1名を委嘱することができる。
- 6 会長は、日本産婦人科医会が当県に設置している地域代表を兼ねることができる。

第14条 役員は総会において会員の中より選出する。

(役員の任期)

第15条 役員の任期は、2年とし重任を妨げない。欠員による役員の任期は、前任者の残務期間とする。

第4章 会 議

(会議の種類)

第16条 本会の会議は、総会及び理事会とする。

- 2 総会は毎年1回開催し、会長が召集することができる。
- 3 総会は会員現在数の過半数の出席をもって成立する。委任状は出席とみなす。総会の議決は出席会員の過半数をもって定する。可否同数の場合は議長の決するところによる。
- 4 臨時総会は会長が必要と認める場合に召集することができる。
- 5 総会は、予算、決算、事業計画、選挙、会則の変更等を議決する。
- 6 総会は、茨城産科婦人科学会総会と併せて開催することができる。
- 7 理事会は、会長、副会長及び理事を持って組織し、会長がこれを召集し、その議長となり常時本会の業務を処理する。
- 8 理事会は理事現在数の過半数（委任状を含む）の出席をもって成立する。理事会の議決は出席理事の過半数をもって決定する。賛否

同数の場合は議長の決するところによる。

9 名誉会員、顧問、監事は理事会に出席し意見を述べることができるが議決権はない。

10 会長は、急を要する場合に会務を専決処することができる。その場合、次の理事会において専決処分を報告するものとする。

(総会の議長、副議長)

第17条 総会に、議長及び副議長を各1名置く。

2 議長、副議長は、総会において会員の中より選出する。その任期は役員と同じとする。

第18条 本会の円滑な運営を図るため、各部、各種委員会、各支部を設けることができる。

第5章 会 計

(会計年度)

第19条 本会の会計年度は、毎年4月1日始まり、翌年3月31日に終わる。

第20条 本会の経費は、会費、分担金、寄付金、その他の収入をもって充てる。

第21条 会費は、その年の9月までに徴収するものとする。

第22条 本会の特に重要な事業に対して理事会の議決を経て、特別会計を設けることができる。

第6章 公益社団法人日本産婦人科医会代議員 (選出方法)

第23条 公益社団法人日本産婦人科医会（以下「日本産婦人科医会」）の代議員を選出するため、会員による選挙を行う

2 会員は、前項の医会代議員選挙の立候補することができる。

3 前2項の会員とは、日本産婦人科医会の会員であることを要する。

4 代議員選出方法については別に定める。

(職務)

第24条 日本産婦人科医会代議員に選出された会員は、日本産婦人科医会総会に出席し、議

決権を行使する。

第7章 日本産婦人科医会都道府県地域代表
(都道府県地域代表)

第25条 本会は日本産婦人科医会が当県に設置している地域代表と緊密なる連絡調整を行い、本会と日本産婦人科医会がともに連携・協力することにより業務執行の適正なる運営を図るものとする。

(連携)

第26条 本会は都道府県地域代表と連携を図り、次の職務を行う。

- (1) 本会と日本産婦人科医会との連絡調整に関する事務。
- (2) 会費の徴収に関する事務
- (3) 会員の入退会に関する事務
- (4) 代議員選挙に関する事務
- (5) 地方自治体との連絡調整に関する事務
- (6) その他会長が必要と認めた事務

第8章 雑則

第27条 この会則についての必要な細則は、理事会に於いて決める。

第28条 本会に会務を処理する有給事務員をおくことができる。事務職員は、会長が任免又は委嘱する。

第29条 本会の役員に対しては、費用を弁償することができる。

第30条 本会会則の改正は、総会の決議によるものとする。

昭和45年4月25日改正

昭和52年4月16日改正

平成5年4月24日改正

平成9年4月26日改正

平成14年4月20日改正

平成20年4月26日改正

平成22年11月6日改正

医会代議員選出に関する細則

第 1 条 茨城県産婦人科医会（以下「本会」）は、公益社団法人日本産婦人科医会（以下「日本産婦人科医会」）代議員選出規程第 9 条の規定に基づき、日本産婦人科医会の代議員（以下「医会代議員」）の選出に関し、この細則を定める。

第 2 条 日本産婦人科医会が通知する医会代議員定数について、会員の直接選挙によって選出するものとし、医会代議員の任期が満了する 2 年目の 1 月末までに実施する。

2 前項に加え、医会代議員が欠けた場合又は医会代議員を欠くときに備えて予備の医会代議員を選出することができる。

第 3 条 医会代議員の任期は、公益社団法人日本産婦人科医会定款で定める任期とする。

第 4 条 選挙権者及び被選挙権者は、原則として前年 10 月 31 日現在会費完納正会員（減免会員を含む。）であって、選挙日の前年の 12 月 31 日に日本産婦人科医会に在籍する会員とする。

2 被選挙権者は、選挙日の前年の 3 月 31 日において、母体保護法第 14 条に規定する指定医師又は日本産婦人科医会に 5 年以上在籍した会員であることを要する。

第 5 条 選挙の管理は選挙管理委員会が行い、本会会長が連携・協力する。

2 選挙管理委員会の業務に関する事項は、本会会長が別に定める。

第 6 条 選挙は立候補制とし、被選挙権を有する会員へ書面で立候補を募るものとする。

第 7 条 医会代議員に立候補する会員は、定められた期日までに選挙管理委員会へ立候補の届出をしなければならない。

2 選挙管理委員会委員は立候補することができない。

第 8 条 本会は、日本産婦人科医会から医会代議員選出依頼を受けた場合には、速やかに選挙管理委員会を設置し、選出作業を開始しなければならない。

2 選挙管理委員会は選挙権者に対して、文書により選挙を実施することを公示し、同時に候補者の一覧と投票用紙を送付し、さらに投票方法と投票期日及び開票日とその場所を通知するも

のとする。

3 選挙管理委員会は、投票が終了したのち速やかに開票を行わなければならない。

第9条 選挙管理委員会は開票終了後直ちにその結果を確認し、本会会長に結果を通知するとともに、決定した医会代議員名等を日本産婦人科医会に速やかに報告するものとする。

2 本会会長は決定した医会代議員名を全ての会員に速やかに通知しなければならない。

第10条 選挙管理委員会は選出作業の経緯と選挙結果を記録し、その記録を2年間保存するものとする。

第11条 この細則は本会の理事会において出席者の過半数の賛成と総会の承認を得て変更することができる。

(附 則)

この細則は、平成22年11月6日から施行する。

- (1) 会員となる資格並びに入会金及び会費の額
- (2) 会員の除名
- (3) 理事及び監事の選任又は解任
- (4) 事業報告
- (5) 収支予算書、収支決算書、事業計画書等の承認
- (6) 会則の変更
- (7) その他総会で決議するものとしてこの会則で定められた事項

2 総会で決議する事項は、予め理事会で審議する。

第9章 学術集会

開催

第31条 学術集会を、毎年数回開催する。

2 学術集会の内容は、茨城県臨床医学雑誌に掲載する。

第10章 委員会

委員会

第32条 委員会を次の如く定める。

(1) 地方専門医制度委員会：専門医制度の運営に関する業務その他を行うものとする。

2. 地方専門医制度委員会の構成その他については公益社団法人日本産科婦人科学会専門医制度規約ならびに同施行細則に準じて行う。

第12章 会計

事業年度

第33条 本学会の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

事業計画及び収支予算

第34条 本学会の事業計画書及び収支予算書については、毎事業年度の開始の日の前日までに会長が作成し、理事会の承認を得なければならない。

事業報告及び決算

第35条 本学会の事業報告及び収支決算書等については、毎事業年度終了後、会長が作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を経て、

総会の承認を受けなければならない。

特別会計

第36条 本学会の特に重要な事項に対しては、総会の決議を得て、特別会計を設けることができる。

第13章 公益社団法人日本産科婦人科学会代議員

選出方法

第37条 公益社団法人日本産科婦人科学会の代議員を選出するため、会員による選挙を行う。

2 会員は、前項の代議員選挙に立候補することができる。

3 1項及び2項の会員とは、公益社団法人日本産科婦人科学会の会員であることを要する。

4 その方法については別に定める。

職務

第38条 公益社団法人日本産科婦人科学会代議員に選出された会員は、公益社団法人日本産科婦人科学会総会に出席し、議決権を行使する。

第14章 公益社団法人日本産科婦人科学会 地方連絡委員会

委員の推薦

第39条 本学会は、公益社団法人日本産科婦人科学会に設置されている地方連絡委員会の委員として本学会会長を推薦する。

職務

第40条 公益社団法人日本産科婦人科学会地方連絡委員会委員は、公益社団法人日本産科婦人科学会地方連絡委員会に出席する。また、その職務は公益社団法人日本産科婦人科学会の定款施行細則、専門医制度規約および同施行細則に準ずる。

第15章 補則

事務職員

第41条 本学会は、会務に従事する有給事務職員を置くことができる。

2 事務職員は、会長がこれを任免又は委嘱する。

会則の変更

第42条 この会則は、総会において、会員現在数の
3分の2以上の決議によって変更することが
できる。

細則

第43条 本会則の施行に必要な細則は別に定める。

平成22年4月17日制定

平成23年4月1日施行

茨城産科婦人科学会における公益社団法人日本産科婦人科学会代議員選出に関する細則

第1章 総則

第1条 本細則は、茨城産科婦人科学会（以下本学会）会則第37条にもとづき、本学会における公益社団法人日本産科婦人科学会の代議員（以後代議員）を選出するための方法を定めたものである。

第2条 本学会は割り当てられた数の代議員を原則として会員の直接選挙によって選出するものとする。

第2章 代議員の任期

第3条 本細則で選出された代議員の任期は公益社団法人日本産科婦人科学会の定款に定められた任期とする。

2. 選出された代議員が何らかの理由で代議員でなくなった場合には、次点者を順次繰り上げるが、その任期は前任者の残存期間とする。

3. 次点者がいない場合には、補欠の代議員選挙を行う。それにより当選した者の任期は前任者の残存期間とする。

第3章 選挙権・被選挙権

第4条 選挙権者は選挙が行われる年度の10月31日（必着）までにその年度の公益社団法人日本産科婦人科学会および本学会の会費を完納し、選挙が行われる年度の10月31日に両学会に在籍する会員とする。

第5条 被選挙権者は選挙が行われる年度の前年度の3月31日において引き続き満5年以上の公益社団法人日本産科婦人科学会会員であって、かつ選挙が行われる年度の10月31日（必着）までにその年度の公益社団法人日本産科婦人科学会および本学会の会費を完納し、選挙が行われる年度の10月31日に両学会に在籍する会員とする。

2. 被選挙権者は原則として選挙が行われる年度の12月31日に65歳未満であることが望ましい。

第4章 選挙管理委員会

第6条 選挙の管理は本学会が設置する選挙管理委員会が行い、会長が支援する。

第7条 選挙管理委員会の委員は、会員の中から、会長が、本学会会則第3条に定める各支部より、それぞれ1名ずつ委嘱する。

2. 選挙管理委員会の委員長は、委員のなかから互選する。

3. 委員の委嘱並びに委員長の選出は、選挙が行われる年度の11月30日までに行われなければならない。

4. 委員および委員長の任期は2年とする。但し再任は妨げない。

第5章 選挙方法

第8条 選挙は茨城県を全県一区として行う。

第9条 選挙は12月1日から1月31日の間に行う。

第10条 選挙は立候補制とし、被選挙権を有する有権者へ書面で立候補を募るものとする。

第11条 立候補する会員は、定められた期日までに候補者となる旨を所定の書式により本学会会長あてに文書で申し出るものとする。

2. 選挙管理委員会委員は立候補することが出来ない。

第12条 投票は選挙管理委員会によって示された数を連記し、無記名で行う。

2. 連記人数は代議員定数の半数を超えない数かつ5名を超えない最大数とする。

3. 投票は投票用紙に自書し、投票期日までに到着するよう郵送しなければならない。

第13条 得票数の多い順に当選とする。同数の場合には年長者順とする。

2. 有効票の取扱は選挙管理委員会の内規に定める。

第6章 選挙管理業務

第14条 選挙管理委員会は、本学会から代議員選任依頼を受けた場合には速やかに選出作業を開始しなければならない。

2. 選挙管理委員会は有権者に対して、文書により選挙を実施することを公示し、候補者の一覧と投票用紙を送付し、さらに投票方法

と投票期日および開票日とその場所を通知する。

3. 投票は郵便によって行う。

4. 選挙管理委員会は、投票が終了したのち速やかに開票を行わなければならない。

5. 開票作業は公開し、希望する会員は立ち合うことができる。

第15条 選挙管理委員会は開票終了後直ちにその結果を確認し、その結果を会長、一般社団法人関東連合産科婦人科学会および公益社団法人日本産科婦人科学会に速やかに報告する。

第16条 会長は選挙の結果、選任された代議員の氏名を本学会役員会に報告するとともに、本学会総会に報告する。

第17条 選挙管理委員会は選出作業の経緯と選挙結果を記録し、その記録を少なくとも2年間は保存する。

第7章 異議の申立

第18条 選挙の効力に関して不服のある選挙人または候補者は、文書で選挙管理委員会に対して異議を申し立てることができる。

2. 選挙管理委員会は、申し立てのあった異議を公益社団法人日本産科婦人科学会に報告する。

第8章 細則の変更

第19条 本細則は本学会総会での決議により変更することができる。

第9章 附則

第20条 本細則に定められていない事項、予測できなかった事態が発生した場合の取扱は選挙管理委員会が協議して決定する。

2. 前項の決定は直後に開催される本学会役員会に報告し承認をえるものとする。

第21条 本細則は平成23年4月1日より実施する。

茨城産科婦人科学会 担当幹事予定一覧

令和 3 年 1 月 7 日現在

第 190 回（令和 3 年 10 月 or 11 月） 開催地：水戸（茨城県医師会）
JA とりで総合医療センター 梅木英紀先生
＜一般講演および特別講演＞

第 191 回（令和 4 年 4 月） 開催地：水戸（茨城県医師会）
県北医療センター高萩協同病院 井上久美子先生
＜特別講演のみ＞

第 192 回（令和 4 年 10 月 or 11 月） 開催地：水戸（茨城県医師会）
龍ヶ崎済生会病院 小倉 剛先生
＜一般講演および特別講演＞

※ 4 月は同日に総会を行うため、また 10 月は茨城医学会の分科会として開催するため、いずれも水戸での開催となります。

※ 具体的な開催日は、その約 6 か月前に茨城産科婦人科学会執行部で決定します。

役職	氏名	医療機関名	郵便番号	医療機関住所	電話番号	FAX番号
会長	青木雅弘	青木医院	310-0815	水戸市本町3-4-7	029-221-8603	029-221-1235
副会長	船橋宏幸	船橋レディースクリニック	306-0126	古河市諸川657-3	0280-76-0386	0280-77-3860
副会長	石川和明	石川クリニック	300-0038	土浦市大町12-3	029-821-2587	029-821-2651
副会長	瀬尾文洋	瀬尾医院	316-0004	日立市東多賀町2-15-8	0294-33-0763	0294-32-0702
議長	満川元一	水戸赤十字病院	310-0011	水戸市三の丸3-12-48	029-221-5177	029-227-0819
副議長	佐藤 正	鈴木産婦人科医院	310-0818	水戸市東台1-10-9	029-221-3932	029-225-5773
監事	石渡 勇	石渡産婦人科病院	310-0041	水戸市上水戸1-4-21	029-221-2553	029-221-1012
監事	西田正人	霞ヶ浦医療センター	300-0812	土浦市下高津2-7-14	029-822-5050	029-824-0494
水戸地区支部長(理事)	植野信水	植野産婦人科医院	310-0063	水戸市五軒町2-3-7	029-221-2513	029-226-6420
理事	石渡千恵子	石渡産婦人科病院	310-0041	水戸市上水戸1-4-21	029-221-2553	029-221-1012
理事(幹事長)	原 崇文	原レディースクリニック	312-0018	ひたちなか市笹野町2-11-10	029-276-9577	029-276-9578
理事(副幹事長)	小松崎 哲	小松崎産婦人科	310-0815	水戸市本町1-6-20	029-221-2645	029-224-7752
理事	岩崎まり子	岩崎病院	310-0852	水戸市笠原町1664-2	029-241-8700	029-244-2303
理事	対木 章	ひたちなか母子の病院	312-0056	ひたちなか市青葉町19-7	029-273-2888	029-273-5034
理事	石渡 巖	石渡産婦人科病院	310-0041	水戸市上水戸1-4-21	029-221-2553	029-221-1012
県南地区支部長(副会長)	石川和明	石川クリニック	300-0038	土浦市大町12-3	029-821-2587	029-821-2651
理事	黒田勇二	なないろレディースクリニック	305-0054	つくば市西大沼637-6	029-860-7716	029-860-7717
理事	長田佳世	つくばセントラル病院	300-1211	牛久市柏田1589-3	029-872-1771	029-874-4763
理事	五十嵐俊夫	いがらしクリニック	301-0826	龍ヶ崎市栄町4659-3	0297-62-0936	0297-62-0988
理事	新井ゆう子	霞ヶ浦医療センター	300-0812	土浦市下高津2-7-14	029-822-5050	029-824-0494
理事	菅野俊一	かんの産婦人科クリニック	300-1512	取手市藤代1076	0297-83-0321	0297-82-6216
理事	坂本雅恵	総合病院 土浦協同病院	300-0028	土浦市おおつ野4丁目1-1	029-830-3711	029-846-3721
県北地区支部長(副会長)	瀬尾文洋	瀬尾医院	316-0004	日立市東多賀町2-15-8	0294-33-0763	0294-32-0702
理事	福地秀行	福地レディースクリニック	317-0071	日立市鹿島町2-17-4	0294-27-7521	0294-27-7531
理事	小池敦与	北茨城市民病院	319-1711	北茨城市関南町関本下1050	0293-46-1121	0293-46-6526
県西地区支部長(副会長)	船橋宏幸	船橋レディースクリニック	306-0126	古河市諸川657-3	0280-76-0386	0280-77-3860
理事	宇津野博	宇津野医院	304-0068	下妻市下妻丁373-15	0296-45-0311	0296-45-0313
理事	遠藤勝英	遠藤産婦人科医院	308-0005	筑西市中館130-1	0296-20-1000	0296-22-5630
理事	秋葉和敬	秋葉産婦人科病院	306-0013	古河市東本町2-9-2	0280-32-3335	0280-32-3305
日産婦医会代議員	青木雅弘	青木医院	310-0815	水戸市本町3-4-7	029-221-8603	029-221-1235
名誉会員	久保武士	龍ヶ崎済生会病院	301-0854	龍ヶ崎市中里1-1	0297-63-7111	0297-63-7163
顧問	石渡 勇	石渡産婦人科病院	310-0041	水戸市上水戸1-4-21	029-221-2553	029-221-1012
顧問	吉川裕之	茨城県立中央病院婦人科	309-1703	笠間市鯉淵6528	0296-77-1121	0296-77-2886

令和2－3年度茨城産科婦人科学会役員(案)

役職	氏名	医療機関名	郵便番号	医療機関住所	電話番号	FAX番号
会長	佐藤豊実	筑波大学医学医療系産科婦人科学	305-8575	つくば市天王台1-1-1	029-853-3210	029-853-3072
副会長	濱田洋実	筑波大学医学医療系産科婦人科学	305-8575	つくば市天王台1-1-1	029-853-3210	029-853-3072
副会長	藤村正樹	東京医科大学茨城医療センター産婦人科	300-0332	稲敷郡阿見町中央3-20-1	0298-87-1161	029-887-6266
理事	青木雅弘	青木医院	310-0815	水戸市本町3-4-7	029-221-8603	029-221-1235
理事	沖 明典	茨城県立中央病院婦人科	309-1703	笠間市鯉淵6528	0296-77-1121	0296-77-2886
理事	小島真奈	筑波大学医学医療系産科婦人科学	305-8575	つくば市天王台1-1-1	029-853-3210	029-853-3072
理事	原 崇文	原レディスクリニック	312-0018	ひたちなか市笹野町2-11-10	029-276-9577	029-276-9578
理事	水口剛雄	筑波大学医学医療系産科婦人科学	305-8575	つくば市天王台1-1-1	029-853-3210	029-853-3072
幹事	新井ゆう子	霞ヶ浦医療センター産婦人科	300-0812	土浦市下高津2-7-14	029-822-5050	029-824-0494
幹事	岡本 一	筑波学園病院産婦人科	305-0854	つくば市上横場2573-1	029-836-1355	029-836-1918
幹事	長田佳世	つくばセントラル病院	300-1211	牛久市柏田1589-3	029-872-1771	029-874-4763
幹事	島袋剛二	土浦協同病院産婦人科	300-0028	土浦市おとお野4-1-1	029-830-3711	029-846-3721
幹事	染川可明	JAとりで総合医療センター産婦人科	302-0022	取手市本郷2-1-1	0297-74-5551	0297-74-2721
幹事	染谷勝巳	茨城西南医療センター病院産婦人科	306-0433	猿島郡境町2190	0280-87-8111	0280-86-7702
幹事	藤木 豊	水戸済生会総合病院産婦人科	311-4145	水戸市双葉台3-3-10	029-254-5151	029-254-9099
幹事	渡邊之夫	県北医療センター高萩協同病院産婦人科	318-0004	高萩市上手綱上ヶ穂町1006-9	0293-23-1122	0293-24-1063
監事	吉川裕之	茨城県立中央病院	309-1703	笠間市鯉淵6528	0296-77-1121	0296-77-2886
監事	佐々木純一	総合守谷第一病院産婦人科	302-0102	守谷市松前台1-17	0297-45-5111	0297-45-5050
顧問	石渡 勇	石渡産婦人科病院	310-0041	水戸市上水戸1-4-21	029-221-2553	029-221-1012
顧問	西田正人	霞ヶ浦医療センター	300-0812	土浦市下高津2-7-14	029-822-5050	029-824-0494
顧問	手島研作	ひたちなか母と子の病院	312-0056	ひたちなか市青葉町19-7	029-273-2888	029-273-5034
顧問	満川元一	水戸赤十字病院	310-0011	水戸市三の丸3-12-48	029-221-5177	029-227-0819
名譽会員	久保武士	龍ヶ崎済生会病院	301-0854	龍ヶ崎市中里1-1	0297-63-7111	0297-63-7163
名譽会員	相馬広明	医療法人厚友会城西病院	307-0001	結城市結城10745-2	0296-33-2111	0296-32-1937
名譽会員	吉川裕之	茨城県立中央病院	309-1703	笠間市鯉淵6528	0296-77-1121	0296-77-2886
功労会員	石渡 勇	石渡産婦人科病院	310-0041	水戸市上水戸1-4-21	029-221-2553	029-221-1012
功労会員	臼杵 愼		305-0024	(自)つくば市倉掛725-3	029-851-5830	029-851-3622
功労会員	小林 昇	茨城県メディカルセンター	310-0852	水戸市笠原町489-4	029-243-1111	029-243-1108
功労会員	西田正人	霞ヶ浦医療センター	300-0812	土浦市下高津2-7-14	029-822-5050	029-824-0494
功労会員	目崎 登		305-0003	(自)つくば市桜2-35-4	029-850-6250	029-850-6250
功労会員	佐々木純一	総合守谷第一病院産婦人科	302-0102	守谷市松前台1-17	0297-45-5111	0297-45-5050
功労会員	手島研作	ひたちなか母と子の病院	312-0056	ひたちなか市青葉町19-7	029-273-2888	029-273-5034
功労会員	満川元一	水戸赤十字病院	310-0011	水戸市三の丸3-12-48	029-221-5177	029-227-0819

令和2年度茨城県産婦人科医会一般会計決算について

令和2年度茨城県産婦人科医会一般会計は下記のとおり決算しましたのでご承認を求める。

令和3年1月28日
茨城県産婦人科医会長 青木 雅弘

記

令和2年度茨城県産婦人科医会歳入歳出決算書（見込）

歳入の部

科	目	2年度	2年度	比較	説 明
款	項	予算額	決算額	増減	
1. 会 費		3,332,000	4,100,000	768,000	
	1. 会費	3,331,000	4,100,000	769,000	正164、準0
	2. 過年度収入	1,000	0	△ 1,000	
2. 補助金		160,000	0	△ 160,000	
	1. 補助金	160,000	0	△ 160,000	
	2. 県医補助金	0	0	0	
3. 手数料		220,000	226,336	6,336	
	1. 手数料	220,000	226,336	6,336	日産医会会費還元金 献金還元金
4. 繰越金		1,092,746	1,092,746	0	
	1. 繰越金	1,092,746	1,092,746	0	
5. 繰入収入		0	0	0	
	1. 繰入収入	0	0	0	
6. 研究費		0	0	0	
	1. 研究費	0	0	0	
7. 事業費		200,000	0	△ 200,000	
	1. 事業費	200,000	0	△ 200,000	)
8. 雑収入		150,000	13,207	△ 136,793	
	1. 雑収入	150,000	13,207	△ 136,793	利息 親和会、福祉サービス戻り
歳入合計		5,154,746	5,432,289	277,543	

歳出の部

科	目	2 年度	2 年度	比較	説 明
款	項	予算額	決算額	増減	
1. 事務費		1,915,000	1,239,421	△ 675,579	
	1. 旅 費	500,000	12,650	△ 487,350	県内出張旅費
	2. 需用費	400,000	338,037	△ 61,963	県母医報等送料, 事務費他
	3. 交際費	100,000	15,420	△ 84,580	電話代1/3, コピーリース, 関ブロ 被害者支援, 電報
	4. 諸手当	785,000	785,000	0	職員給与
	5. 手数料	30,000	16,000	△ 14,000	EB手数料他
	6. 雑 費	100,000	72,314	△ 27,686	勤労福祉サービス、福利厚生 費、傷害保険
2. 会議費		500,000	5,000	△ 495,000	
	1. 会議費	400,000	5,000	△ 395,000	理事会
	2. 食糧費	100,000	0	△ 100,000	
3. 事業費		1,390,000	528,068	△ 861,932	
	1. 学術講演費	300,000	0	△ 300,000	
	2. 渉外費	30,000	0	△ 30,000	
	3. 広報宣伝費	650,000	484,000	△ 166,000	医報印刷代(第260号)
	4. 医療事故 対策費	30,000	0	△ 30,000	
	5. がん対策費	50,000	0	△ 50,000	
	6. 母子保健費	200,000	0	△ 200,000	
	7. 社保対策費	50,000	0	△ 50,000	
	8. 医業経営 対策費	30,000	0	△ 30,000	
	9. 福利厚生費	0	0	0	
	10. 性教育・ STD教育	30,000	0	△ 30,000	
	11. 委託事業	0	0	0	
	12. 雑費	20,000	44,068	24,068	ネットシステム代他
4. 会館管理費		339,900	339,900	0	
	1. 会館管理費	339,900	339,900	0	
5. 予備費		1,009,846	0	△ 1,009,846	
	1. 予備費	1,009,846	0	△ 1,009,846	
歳出合計		5,154,746	2,112,389	△ 3,042,357	

歳 入 合 計 5,432,289

(注) △減

歳 出 合 計 2,112,389

差 引 残 高 3,319,900

令和3年度へ繰越

令和3年度茨城県産婦人科医会歳入歳出予算（案）

歳入の部

科	目	3年度	2年度	比較	説明
款	項	予算額	予算額	増減	
1. 会費		4,100,000	3,332,000	768,000	
	1. 会費	4,100,000	3,331,000	769,000	正164, 準0
	2. 過年度収入	0	1,000	△ 1,000	
2. 補助金		160,000	160,000	0	
	1. 補助金	160,000	160,000	0	公開講座 研修会補助
	2. 県医補助金	0	0	0	
3. 手数料		220,000	220,000	0	
	1. 手数料	220,000	220,000	0	会費還元金、おぎゃー献金
4. 繰越金		1,092,746	1,092,746	0	
	1. 繰越金	1,092,746	1,092,746	0	
5. 繰入収入		0	0	0	
	1. 繰入収入	0	0	0	預貯金から
6. 研究費		0	0	0	
	1. 研究費	0	0	0	
7. 事業費		200,000	200,000	0	
	1. 事業費	200,000	200,000	0	妊娠等相談事業(日産婦)
8. 雑収入		150,000	150,000	0	
	1. 雑収入	150,000	150,000	0	広告料、利息
歳入合計		5,922,746	5,154,746	768,000	

歳出の部

科	目	3 年度	2 年度	比較	説 明
款	項	予算額	予算額	増減	
1. 事務費		1,915,000	1,915,000	0	
	1. 旅 費	500,000	500,000	0	県内外出張旅費・旅費
	2. 需用費	400,000	400,000	0	送料、事務費コピー機リース代 電話代他
	3. 交際費	100,000	100,000	0	会長交際費、見舞金他
	4. 諸手当	785,000	785,000	0	職員給与
	5. 手数料	30,000	30,000	0	EB手数料他
	6. 雑 費	100,000	100,000	0	福祉サービス、福利厚生他
2. 会議費		500,000	500,000	0	
	1. 会議費	400,000	400,000	0	理事会・総務部会
	2. 食糧費	100,000	100,000	0	食事代
3. 事業費		1,390,000	1,390,000	0	
	1. 学術研修費	300,000	300,000	0	市民公開講座・研修会費
	2. 渉外費	30,000	30,000	0	
	3. 広報宣伝費	650,000	650,000	0	県母医報印刷代、委員会費
	4. 医療事故対策費	30,000	30,000	0	委員会費
	5. がん対策費	50,000	50,000	0	子宮がん検診講習会
	6. 母子保健費	200,000	200,000	0	周産期懇話会 CTGセミナー・委員会費
	7. 社保対策費	50,000	50,000	0	委員会費
	8. 医業経営対策費	30,000	30,000	0	委員会費
	9. 福利厚生費	0	0	0	
	10. 性教育・ STD教育	30,000	30,000	0	委員会費
	11. 委託事業	0	0	0	
	12. 雑費	20,000	20,000	0	ネットシステム代
4. 会館 管理費		339,900	339,900	0	
	1. 会館管理費	339,900	339,900	0	
5. 予備費		1,777,846	1,009,846	768,000	
	1. 予備費	1,777,846	1,009,846	768,000	
歳出合計		5,922,746	5,154,746	768,000	

第 4 号議案

令和2年度一般会計決算について
令和2年度茨城産科婦人科学会一般会計は下記のとおり決算しましたのでご承認を求めます。
令和 3 年 1 月 2 8 日 茨城産科婦人科学会会長 佐 藤 豊 実

令和2年度茨城産科婦人科学会歳入歳出決算書（見込）

歳入の部

科	目	2 年度	令和 2 年度	比較	説 明
款	項	予算額	決算額	増減	
1. 会費		1,088,000	1,120,000	32,000	
	1. 会費	1,088,000	1,120,000	32,000	280人
2. 補助金		720,000	465,050	△ 254,950	
	1. 補助金	720,000	465,050	△ 254,950	県医・学会 関東連合
3. 専門医 地方委員会費		200,000	238,989	38,989	
	1. 専門医地方 委員会費	200,000	238,989	38,989	専門医補助
4. 繰越金		3,068,493	3,068,493	0	
	1. 繰越金	3,068,493	3,068,493	0	
5. 雑収入		20	11	△ 9	
	1. 雑収入	20	11	△ 9	利息
歳入合計		5,076,513	4,892,543	△ 183,970	

歳出の部

科	目	2 年度	2 年度	比較	説 明
款	項	予算額	決算額	増減	
1. 事務費		1,265,000	1,120,980	△ 144,020	
	1. 需用費	300,000	98,226	△ 201,774	コピー・印刷・事務費・手数料
	2. 通信費	100,000	165,440	65,440	学会・専門医送料・電話代 1/3 他
	3. 諸手当	785,000	785,000	0	職員給料
	4. 雑 費	80,000	72,314	△ 7,686	福利厚生, 福祉サービス, 傷害保険
2. 会議費		400,000	17,650	△ 382,350	
	1. 会議費	200,000	17,650	△ 182,350	理事会・旅費
	2. 食糧費	200,000	0	△ 200,000	
3. 事業費		950,000	21,400	△ 928,600	
	1. 学会開催費	800,000	0	△ 800,000	
	2. 代議員会費	80,000	15,400	△ 64,600	会議室代・旅費
	3. 専門医制度	50,000	6,000	△ 44,000	
	4. 雑 費	20,000	0	△ 20,000	
4. 会館管理費		339,900	339,900		
	1. 会館管理費	339,900	339,900		
5. 予備費		2,121,613	0	△ 2,121,613	
	1. 予備費	2,121,613	0	△ 2,121,613	
歳出合計		5,076,513	1,499,930	△ 3,576,583	

歳 入 合 計 4,892,543
歳 出 合 計 1,499,930
差 引 残 高 3,392,613 令和 3 年度へ繰越

令和3年度茨城産科婦人科学会歳入歳出予算（案）

歳入の部

科	目	3年度	2年度	比	説 明
款	項	予算額	予算額	増減	
1. 会費		1,120,000	1,088,000	32,000	
	1. 会費	1,120,000	1,088,000	32,000	280人
2. 補助金		720,000	720,000	0	
	1. 補助金	720,000	720,000	0	県医、学会、関東連合
3. 専門医 地方委員会費		200,000	200,000	0	
	1. 専門医地方 委員会費	200,000	200,000	0	専門医補助
4. 繰越金		3,068,493	3,068,493	0	
	1. 繰越金	3,068,493	3,068,493	0	
5. 雑収入		20	20	0	
	1. 雑収入	20	20	0	利息
歳入合計		5,108,513	5,076,513	32,000	

歳出の部

科	目	3年度	2年度	比	説 明
款	項	予算額	予算額	増減	
1. 事務費		1,265,000	1,265,000	0	
	1. 需用費	300,000	300,000	0	印刷代他事務費
	2. 通信費	100,000	100,000	0	電話、プログラム送料
	3. 諸手当	785,000	785,000	0	専門医送料
	4. 雑 費	80,000	80,000	0	職員給与
2. 会議費		400,000	400,000	0	
	1. 会議費	200,000	200,000	0	県外出張旅費、理事会会 議費
	2. 食糧費	200,000	200,000	0	学会・会議食事代他
3. 事業費		950,000	950,000	0	
	1. 学会開催費	800,000	800,000	0	講師謝金、旅費 会場費他
	2. 代議員会費	80,000	80,000	0	代議員関係
	3. 専門医制度	50,000	50,000	0	専門医・e医学会カード
	4. 雑 費	20,000	20,000	0	図書券・茶菓子等
4. 会館 管理費		339,900	339,900	0	
	1. 会館管理費	339,900	339,900	0	
5. 予備費		2,153,613	2,121,613	32,000	
	1. 予備費	2,153,613	2,121,613	32,000	
歳出合計		5,108,513	5,076,513	32,000	